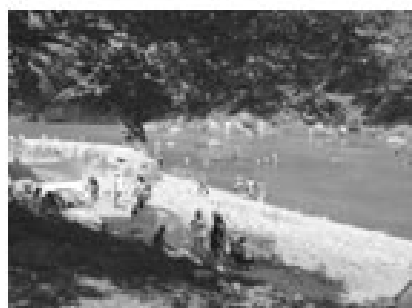


# 西暦2010年の多摩川を記録する運動

2011年

横山 十四男  
特定非営利活動法人多摩川センター

# 西暦2010年の多摩川を記録する運動 活動報告書



2011年3月

西暦2010年の多摩川を記録する運動実行委員会

# 西暦 2010 年の多摩川を記録する運動

## 活動報告書

### <目次>

|                            |    |
|----------------------------|----|
| はじめに .....                 | 1  |
| 1. 活動の経過 .....             | 2  |
| (1)実施に向けての経緯 .....         | 3  |
| 2. 一斉調査の実施と結果 .....        | 25 |
| (1)多摩川でのヒトの利用実態調査 .....    | 25 |
| (2)特別調査 .....              | 36 |
| 3. 多摩川に関する映像資料の収集 .....    | 50 |
| 4. 調査風景 .....              | 52 |
| 5. パノラマ写真 .....            | 54 |
| 6. 多摩川のさまざまな利用風景 .....     | 55 |
| 7. キロポスト, 案内板, 標識等 .....   | 57 |
| 8. 多摩川河川敷で見られる花ベスト10 ..... | 58 |
| 9. 調査員からのメッセージ .....       | 60 |
| 調査を終えて .....               | 66 |

「西暦 2010 年の多摩川を記録する運動」が、立派な成果を上げて無事終了し、ここに報告書を出すことが出来るようになったことを、ご参加の皆さんと共に喜びたいと思います。そして、また呼びかけ人の一人として、ご参加下さった方々に深く感謝いたします。

私がこのあいさつ文を書いているのは 3 月 22 日なのですが、その 11 日前の 3 月 11 日午後 2 時 46 分、東北関東大震災が起こったのでした。震源地は三陸沖数十キロメートルの海底断層とのことです。翌日の昼ごろまでの約 20 時間に、震度 6 以上の激しい揺れが 20 回もあったのでした。多発の理由としては、宮城県沖の断層がまずずれ、それに連動して茨城県沖の断層がずれる形になったとのこと、そして深さが 60 キロメートルから 5 キロメートルと浅いところまで及んだため、大津波が発生するようになったとのこと。11 日から 12 日夜にかけての激しい余震の頻発と、福島原子力発電所はじめ、いくつかの発電所の破損、故障による電力不足停電によって、その夜の東京、首都圏は大混乱に陥りました。出先から帰宅できず、避難所や車中に停泊を余儀なくされた人々は数知れず。私は鶴川まで所用で出ていたのですが、バスが動いていたので帰宅することが出来ました。

翌日から関東地方は、地域割をしての計画停電となり、テレビ報道は、NHK、民放を問わず災害報道一色になりました。近代に入っての世界史上第四位の、最大級の地震規模との報道もさることながら、原子力発電所の破壊との報道は、人々の肝を冷やし、旧ソ連時代のチェルノブイリ発電所事故による大災害が頭に浮かんだのでした。いち早く世界中の注目が集まり、日本から逃げ出す外国人も出ました。固唾をのんで見守る中、発電所の原子炉の爆発は何とか食い止めそうな状況で、ハラハラしながら 10 日間を過ごしている状態です。22 日になって、ほっと一息ついて、このあいさつ文にとりかかったのですが、この大変事を経験して、今更ながら多摩川の現状を記録して残すことの重要性を痛感いたしました。大地震によって、一夜のうちに河川や住環境が激変することを見せつけられたからです。直接の被災地のみならず、日本全体がこの大震災によって、生活のあらゆる面にわたって大変化を余儀なくされるに違いありません。政治も経済も社会生活、芸術・文芸も大変化することが必定です。もちろん海辺や河川の治水管理にも大変化が求められましょう。

現在の日本の政府筋では、“今こそ日本は第三の開国を”とて、黒船来航による明治維新、太平洋戦争の敗戦による戦後改革に次ぐ近代化国際化の第三番目の改革・開国を、と呼びかけておりますが、私は第三の開国ではなく、三度目の正直の内省、内治重視を強調すべきだと思います。日本の独自性の自覚、重視をすべきだと思います。そして、明治維新も戦後改革も、アメリカ合衆国の影響が強すぎました。日本には日本独自の地形条件と歴史風土があるのですから、黒船来航以来、158 年を経過し、一応国際化のレベルに達した上は、独自性を強調してよいと思います。

河川管理、海浜防護につきましても、地震多発、梅雨期、台風シーズンに対応しての独自性が求められるのです。ざばり言えば、近代に入って日本人は、生活の便利さ、快適さを求めすぎて、海辺や川辺に集住しすぎるようになりました。またかつてのように、上流部や山へ戻って生活するにしようではありませんか。発達した通信手段を利用すればそれは可能です。近くに歓楽街ではなく、自然の豊かな里山がある方が望ましくおもいませんか。それは日本の古事記、日本書紀にある海幸、山幸の神話の再現にも通ずることになるのではないのでしょうか。山に戻って荒れた山を愛護しようではありませんか。西暦 2000 年と 2010 年の二回にわたって多摩川のヒトの利用状況を調べた結果を見て、私はそのように痛感しました。

多摩川の休日の人出は、異常と言えます。川らしさを無視してのオーバーユースは目に余ります。各地の野球場やサッカー場での利用のしかたを、河川敷でやるのは不適當です。

下流域の河川敷内への立ち入り利用を制限するだけでなく、下流部の沿川や海辺に人間が密集して居住しないようにし、昔居た源流域に戻ろうではありませんか。国土利用の根本方針でそうした観点を盛り込んでもらいたいものです。毎日 5～6 回の震動を受けながらのあいさつ文なので、いささか昂った内容になりましたが、まさに私の腹の底からの真意です。

2011 年 3 月

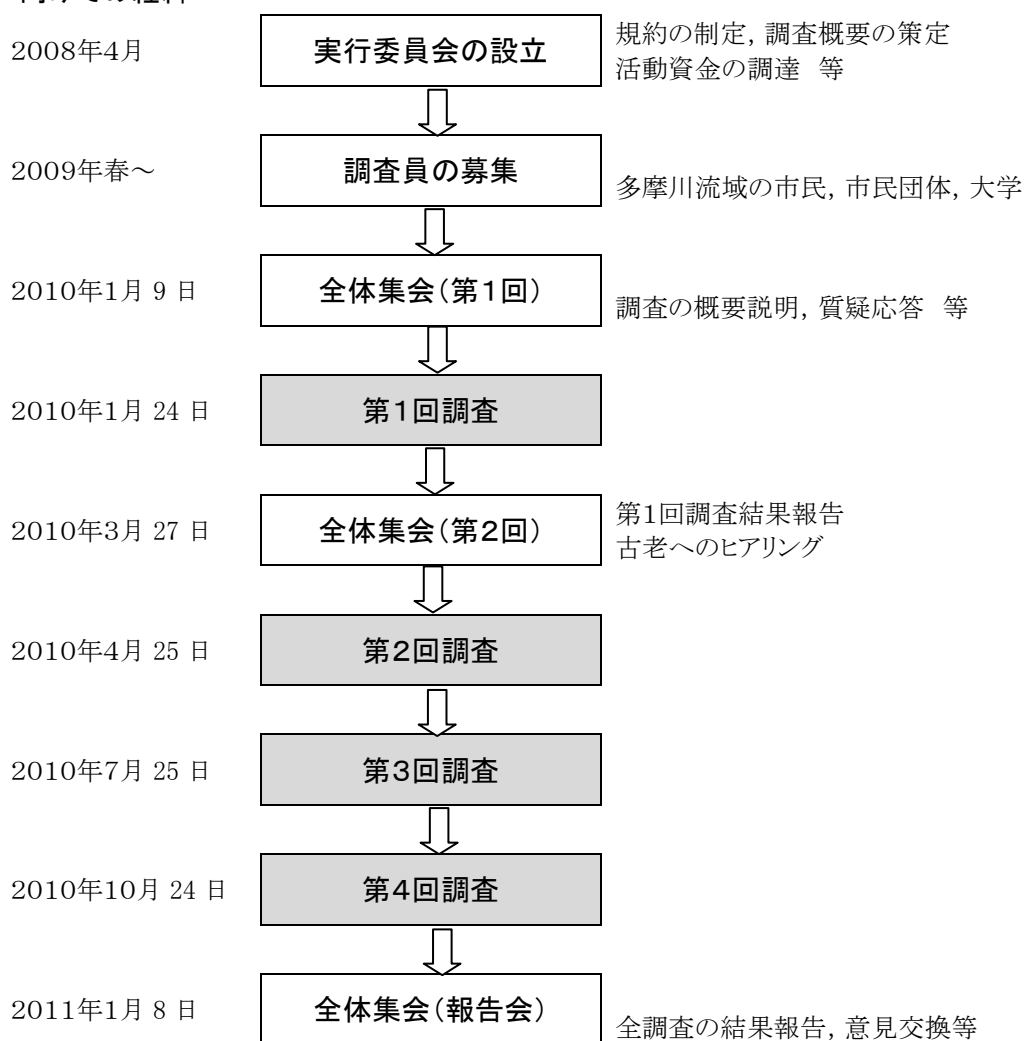
## 1. 活動の経過

「西暦 2000 年の多摩川を記録する運動」を実施してから 7～8 年経ったころ、2000 年での 1 回のみで終わっていいものだろうかと気になりだした。調査は継続してこそ意味がある。2000 年の記録を次代に引き継ぐためにも、たとえ 10 年後であろうとも続ける必要があると考え、前回の実行委員の何人かと相談をし、2010 年に再度行うことにした。さっそく、NPO 法人多摩川センターを事務局とし、調査活動計画を立案することとなった。

2000 年時の調査は、(1) 一斉調査として①多摩川でのヒトの利用実態調査、付随して②カワウの調査、③粗大ゴミの調査、④タンポポ調査、⑤堤防から見た多摩川 (360 度のパノラマ写真、左右岸 1km ごと)、(2) その他の事業として①ビデオ記録 (多摩川に関する映像収集)、②現代の多摩川名勝図鑑 (公募による多摩川の名勝地の写真収集)、③多摩川から 21 世紀への古老からのメッセージ (座談会)、④カイトフォトグラフィ (凧に設置したカメラによる周辺の空中写真、一部地域) であった。

今回、この内容をそのまま踏襲するのか、できるのかの検討を行ったが、10 年を経て、果たして前回の参加者から再度協力を得られるのが課題となり、結果的には継続することが重要と思われる項目に絞り、実施することとした。

### (1) 実施に向けての経緯



### ①実行委員会及び規約の制定（2008年4月1日）

実行委員は、当初、2000年時も実行委員として参加した横山十四男（代表）、大石悌司、柴田隆行（仕事の都合で中途退任）小林幸治、石田幸彦、山道省三（副代表）の5名、監事として倉持武彦、菅谷輝美、事務局はNPO法人多摩川センター（東京都渋谷区、担当：長倉庸子）とし、2008年4月1日、規約を定めた。資料 - ①

### ②実施計画の策定

実施計画の策定にあたっては、実行委員及び前回の協力者との意見交換会（2008年6月29日）を行い、前回の課題、反省を含め、次のような事項を検討した。

- 1) 主な調査は、前回同様、「多摩川でのヒトの利用一斉調査」（2010年1月、4月、7月、10月、2011年1月(予備)）の4回を原則とする。左右岸1kmごとに360度のパノラマ写真を撮影する。
- 2) それぞれの調査日に、特別調査を追加する（内容未定）。
- 3) 古老からの聞き取り調査を行う。
- 4) 多摩川に関する映像資料を追加収集する。2000年時に収録した映像資料228点をデジタル化するため、大石委員にDVD化を委託する。
- 5) 調査関係の写真は、基本的にデジタルカメラを採用する。
- 6) 活動の資金は、財団法人とうきゅう環境浄化財団等、民間、公益法人による助成金でまかなう。

以上の検討案を参考に概案（2009年4月21日、資料 - ②）を作成するとともに、前回参加者を対象に運営に参加する実行委員の募集（2009年春～、資料 - ③）を行ったが、応募者がなく、実行委員は、当初の5名で行うこととした。追って、関係団体、流域の大学（学生）へ、調査員の募集を始めた（2009年4月～、資料 - ④）。その結果、東京学芸大学、東京工業大学、東京都市大学、東京農業大学、明治大学、以上5大学より調査員としての参加の意向を確認した。

その間、事前調査や検討を行い、2009年12月15日付で、西暦2010年の多摩川を記録する運動【実施計画】資料 - ⑤を策定した。

「西暦 2010 年の多摩川を記録する運動実行委員会」  
規 約

(名 称)

第1条 本会は、「西暦 2010 年の多摩川を記録する運動実行委員会」という。

(目 的)

第2条 本会は、多摩川沿川の市民・住民、市民団体、民間企業、学識者、関係団体等が協働して良好な環境の保全に寄与することを目的に西暦 2010 年の多摩川を記録し、後世に遺す運動、調査、研究を行うものである。

(所在地)

第3条 本会の事務局を東京都渋谷区神宮前 1-20-14 神宮村 301 に置く。

(会 員)

第4条 本会の会員は、本会の目的に賛同し、入会して活動を行なう個人及び団体を持って構成する。

(役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1)代表1名、副代表3名以内
- (2)実行委員 5名以上40名以下
- (3)監事 2名

(役員任期)

第6条 役員任期は、3年とし、再任は妨げない。

(代 表)

第7条 代表は、本会を代表し、その業務を総理する。

- 2 副代表は、代表が欠員のときは、代表の職務を代行する。
- 3 監事は、本会の業務及び会計を監査し、これを実行委員会に報告する。

(会 議)

第8条 本会は、必要に応じて実行委員会を開催し、重要事項等について審議する。

- 2 会議議事は出席者の過半数の同意をもって決定する。

(事務局)

第14条 本会に本会の事務を処理するため、事務局を置く。

3. 事務局長は、代表が選任する。

(会 計)

第15条 本会の経費は、助成金及びその他の収入をもってこれに充てる。

第16条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。

附 則

- 1 この規約は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

## 西暦 2010 年の多摩川を記録する運動 調査要領

2009.0421 山道

### ＜記録調査 1＞ ヒトは多摩川で何をしているか？

#### ・目的

多摩川は、都市近傍河川として江戸時代から人々の憩いの川でした。近年この川には、たくさんの人たちが訪れ、さまざまな楽しみ方をするようになりました。しかし、多くの人たちが訪れるため、川の自然環境に大きな負荷を与えるようになりました。こうした状況を記録し、多摩川と人々の関わりあい方の実態を知り、多摩川の環境回復や利用のあり方を考える基礎情報にするとともに、経年的な変化を知る手だてにすることを目的とします。

#### ・内容

- ①2010年1月～2011年1月までの冬春夏秋冬の5回（内、1回は予備）、あらかじめ決められた日曜日の午前中の多摩川河川敷でヒトが何をしているか調べます。
- ②調査票に示された利用内容ごとの人数を記入します。
- ③その他、実行委員会で決めた各回の調査として（各1件）を追加し、同時に調査を行います。（一斉調査は後日決定。2000年の調査では、粗大ゴミ(1月)、カントウタンポポ(4月)、カワウ(10月)等を行いました。
- ④また、各回調査時に開始前に堤防上からのデジタルカメラでパノラマ写真を撮ります。
- ⑤事務局あて、電子メール等で結果を送り、後日編集したものを参加の皆さんに配布します。
- ⑥この調査は、住民、市民を主体に、募集要項を多摩川の住民団体、2000年を記録する運動に参加した人たち、交流拠点や役所等に配布し募集に応募された方々により行われます。今回は流域の大学生にも呼びかけています。

#### ・方法

- ①事前の準備会で決められた計画をもとに3～4人1組の調査班をつくり、決められた区域を担当します。
- ②多摩川は河川法にもとづく一級河川です。左岸、右岸とも堤防上に「河口から～km」というキロ杭が立っています。ここに1組のグループが決められた日時に集合し、調査を開始します。
- ③あらかじめ用意したデジタルカメラでそのキロ杭を最初に撮り、次に堤防上から360度のパノラマ写真を撮ります。その後、上流に向かって調査票を持ち、ヒトの利用内容、人数を記録します。
- ④グループが多ければ、1組1kmが調査範囲ですが、少ない区間では2～3kmを担当してもらう場合もあります。
- ⑤歩く場所は、堤防上でも川原に入っても構いません。
- ⑥調査日や集合時間は、雨、雪に関わらず変更はしません。
- ⑦この調査は、当面、(財)とうきゅう環境浄化財団等の助成（2008年より2年間）の助成金、その他により行います。従って、参加者はボランティア参加となりますが、レクリエーション保険には加入することとします。
- ⑧その他、調査に関わる多額の消耗品費、一部遠距離の交通費については、調整の上、事務局が負担します。



#### ・調査日程

- ①2009年～2010年度にかけ、1～2回の準備会、総会を行う。
- ②2010年1月～2011年1月の計5回の調査日は、下記の通りとする。
 

|                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 第1回:2010年1月24日(日)午前10時～ | 第2回:2010年4月25日(日)午前10時～  |
| 第3回:2010年7月25日(日)午前10時～ | 第4回:2010年10月24日(日)午前10時～ |
| 第5回:2011年1月23日(日)予備日    |                          |



・調査区間

- ①多摩川本川の右岸、左岸のゼロ km から青梅の万年橋約 63 km 地点を原則的な調査区間とする。
- ②その他、地域住民の要望により、ほかの支川等も加わる場合があります。

・その他

- ①参加者は原則的にすべて名前を報告書に記載する。
- ②この「<記録調査 1 >多摩川でヒトは何をしているか」以外の調査は、別途、準備会で協議し決定する。

(発起人)

横山十四男, 大石悌司, 小林幸治, 石田幸彦, 山道省三

(事務局)

特定非営利活動法人 多摩川センター  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-20-14-301 (TEL:03-3479-0166 FAX:03-5772-1608)

資料 - ③ 実行委員募集の呼びかけ

# 西暦2010年の多摩川を記録する運動 実行員の募集 !!

2009 年春

「2010 年の多摩川を記録する運動」発起人  
横山十四男・柴田隆行・大石悌司・石田幸彦・小林幸治・山道省三

西暦 2000 年の多摩川を記録する運動を実施し、早 10 年を過ぎようとしています。2000 年の折には、500 人あまりの個人、団体の方々の協力により、貴重な資料が記録されました。

2010 年を迎えるにあたり、この運動の理念を改めて思い起こし、少なくとも 10 年ごとの記録を遺し、次代に継承しようという思いに至りました。つきましては、2010 年の第 2 回多摩川を記録する運動に、多くの多摩川を愛する方々に、実行員としてご参加いただきますようお願いする次第です。

## <実行員の役割>

- ・実行員として登録いただいた方々により、西暦 2010 年の多摩川を記録する運動の計画、実施を、2009 年春から進めていきます。
- ・実行員として、周辺の方々に呼びかけていただき、調査への参加を募ります。
- ・この運動は、助成金の申請にもとづき運営しますので、ボランティア参加となります。
- ・調査記録は、実行委員会で作成し、公表します。

## <(参考)西暦 2000 年の多摩川を記録する運動の内容>

### 1. 一斉調査

#### ①河川敷地でのヒトの利用実態調査

- ・多摩川本川の左右岸の堤防上にあるキ口杭(河川から～km と表示された杭)に調査員が集合し、パノラマ写真を撮った後、上流に 1km 移動し、人の利用を調査票に記入する。2000 年 1 月、4 月、7 月、10 月、2001 年 1 月の計 5 回実施、その折、オプション調査として、各回にカワウ、粗大ゴミ、タンポポ調査を行った。

### 2. その他の企画調査

- ①2000 年を中心に、多摩川の風景やイベントなどをビデオに収録した。(2008 年に DVD 化、297 点)
- ②写真募集による現代多摩川名勝図鑑
- ③古老による多摩川から 21 世紀へのメッセージ
- ④カイトフォトグラフィー(凧による空中写真等) 等

この記録は、西暦 2000 年の多摩川を記録する運動、活動報告書として 2002 年 3 月に発行した。

西暦 2000 年の多摩川を記録する運動」へご参加いただいた皆様へ

2009 年 10 月  
西暦 2010 年の多摩川を記録する運動発起人会

皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察いたします。

10 年前、西暦 2000 年の多摩川を記録する運動におきましては、多くの方々にご参加いただき、充実した調査ができましたこと御礼申し上げます。

以来、早 10 年の歳月がたちましたが、昨年より 2000 年の記録のみで終わることは記録の意味が薄れてしまうとの声が、実行委員有志の中からあり、改めて「西暦 2010 年の多摩川を記録する運動」を行おうということになりました。

今回も、2010 年 1 月から 2011 年 1 月までの春・夏・秋・冬計 5 回を、前回同様、皆様の参加を得て行う計画といたしました。つきましては、前回ご参加いただいた皆様の登録住所をもとに、改めてご参加をお呼びかけする次第です。お近くの方々にもお声かけいただきますとともに、改めてご参加くださいますようお願い申し上げます。

今回の調査につきましては、別添の調査員募集要領に記してありますが、概ね以下のような要領で行いたいと考えています。

記

1. 運動の名称は「西暦 2010 年の多摩川を記録する運動」とし、当面の発起人及び事務局として、発起人：横山十四男、大石悌司、小林幸治、石田幸彦、事務局：NPO 多摩川センター（山道・長倉）とする。
2. 調査内容は、住民参加型一斉調査として、前回同様、多摩川利用実態調査（主に河口から青梅までの本川左・右岸、及び浅川、秋川、野川等）を行う。調査方法、日程は別紙の通り。
3. 今回は、多摩川流域の大学に呼びかけ、多摩川に関する研究を行っているゼミナール等の大学生、研究性に呼びかける。この若い世代とこれまで多摩川で活動しておられる方々との組み合わせで調査班を構成する。
4. この調査結果は、多摩川センターで集計し、活動報告書を作成し、参加者及び関係機関に配布する。
5. この運動は、(財)とうきゅう環境浄化財団及びその他の助成金を持って運営を行う。

なお、上記調査の他の調査は現在検討中です。また、西暦 2000 年の調査の折収集した多摩川の映像記録 233 点は、DVD 化し、川崎市二ヶ領せせらぎ館及び、府中市郷土の森博物館内「多摩川ふれあい教室」にて公開しています。詳しくは多摩川センターまでお問い合わせください。

西暦 2010 年の多摩川を記録する運動  
<事務局>NPO 法人 多摩川センター  
150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-20-14-301  
TEL : 03-3479-0166  
FAX : 03-5772-1608  
e-mail : [tamagawa-center@r6.dion.ne.jp](mailto:tamagawa-center@r6.dion.ne.jp)

事務局 山道 省三

※柴田隆行氏は仕事の都合上、途中で実行委員を退任

## 西暦 2010 年の多摩川を記録する運動

## 【実施計画】

091215

西暦 2010 年の多摩川を記録する運動実行委員会

## 1. 目的

- 西暦 2000 年の折に行った多摩川河川敷地利用実態調査（ヒトは多摩川で何をしているか？調査）を、10 年を経た 2010 年に再度実施します。
- 調査の結果を公表し、多摩川での健全な利用、環境保全の資料として活用します。
- 市民団体、流域の学生等の参加を得て、一斉調査するとともに、多摩川への関心の促進に寄与します。

## 2. 調査の内容

- ①多摩川本川（河口 0 km から、上流青梅万年橋（約 62km）の左右岸における多摩川河川敷地での人の利用実態を調べます。左・右岸は、下流に向かって左側が左岸、右側が右岸です。
- ②多摩川の堤防上に設置された河口からの距離を示すキロ杭（幅 30cm、高さ 1m 程の白い杭。河口から 1 km ごとに設置）を基点とし、デジタルカメラ等で写真を記録します。写真は、キロごとの杭の設置場所で、360 度のパノラマ写真、調査中での利用者の写真（5～6 点）を撮影します。
- ③その他、冬～春～秋～冬の回ごとに、1 件特別調査を行うことがあります。今回は堤防上から富士山の見えるところを地図に書き入れます（調査票裏面参照）。
- ④後日、利用実態調査とは別に、最近放映された多摩川に関するビデオ、独自に撮影された映像、古い写真などをお持ちの方から提供、借用していただき、記録集に収録します。または、DVD 化して保存します。

## 3. 調査方法

## (1) 事前に用意するもの

- ①事務局からの送付品
  - 1) 調査実施計画書
  - 2) 参加者への調査担当区域表及び地図
  - 3) 2) に応じた 1km ごとの調査票
  - 4) 西暦 2010 年の調査員バッジ（調査の時につけていただく記念バッジ、返却不要）
  - 5) デジタルカメラをお持ちでない方へのインスタントカメラ
  - 6) 緊急連絡方法 等
- ②調査員にご用意いただきたいもの
  - 1) 調査票および調査計画書
  - 2) デジタルカメラ（お持ちでない方は事務局までご連絡ください。）
  - 3) 双眼鏡（お持ちの方のみで結構です。）
  - 4) 筆記用具および時計
  - 5) 冬季は防寒、夏季は帽子などの日よけ対策を十分にして、歩きやすい靴や服装
  - 6) お持ちの方は携帯電話

## (2) 調査の日程

|               |                  |     |             |
|---------------|------------------|-----|-------------|
| 第 1 回調査       | 2010 年 1 月 24 日  | (日) | 午前 10 : 00～ |
| 第 2 回調査       | 2010 年 4 月 25 日  | (日) | 午前 10 : 00～ |
| 第 3 回調査       | 2010 年 7 月 25 日  | (日) | 午前 10 : 00～ |
| 第 4 回調査       | 2010 年 10 月 24 日 | (日) | 午前 10 : 00～ |
| 第 5 回調査 (予備日) | 2011 年 1 月 23 日  | (日) | 午前 10 : 00～ |

- \*洪水など荒天時で危険を伴うと判断した場合は、毎回前日にお知らせします。
- \*第5回調査は、第4回までの調査状況により、実施するかどうか、2010年末までに判断してお知らせします。

### (3) 調査方法

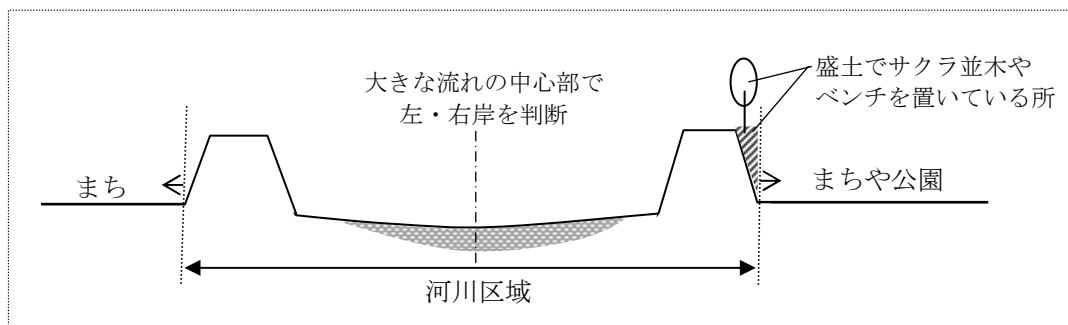
- ①担当する1kmごとに設置された堤防上の杭（以下、キロ杭）の場所に調査員が集合し、調査パートナーと調査方法、内容の確認をします。交通等のトラブルの場合、最大10分程度は許容範囲です。
- ②デジタルカメラ等で、スタート地点のキロ杭を河口から〇〇kmが分かるよう1枚撮影します。その後、その地点の堤防上から360度のパノラマ写真を撮影します。堤防のないところなど、キロ杭が発見できない場合は、地図から判断して地点を決めてください。
- ③その後、あらかじめ〇km～〇kmと記載された調査表を持って調査を開始します。まず、担当地点に立ち、5分間、自転車が往来する通過台数を記録します。
- ④調査票の区分に従い、上流に向かって、人の利用調査を行います。
- ⑤この調査は、1kmごと同様の影響や調査を行います。
- ⑥ヒトの利用実態調査は、次の要領で行ってください。
  - 1) 調査票に示した散歩やジョギング、自然観察等は、どちらかわからない場合があります。あまり悩まず、調査員の判断でカウントしてください。
  - 2) 調査表にない項目は、「その他」の欄に、利用の内容（想像で可）を書き込み、カウントしてください。
  - 3) 堤防上の散歩やジョギングなど人の往来は、目視のきく範囲で調べてください。1km区間を2回ぐらいで結構です。ヒトの重複は気にしなくて結構です。
  - 4) 調査表にない項目は、「その他」の欄に利用の内容（想像で可）を書き込み、カウントしてください。
  - 5) その他調査項目に関する主な内容は、調査票裏面に示しますので、参考にしてください。

### (4) 調査範囲

調査は、左岸・右岸を同時に行っています。ただし、川の主流は蛇行したり端を流れたりしていますので、左右岸の調査員は迷うことがありますので、以下のルールで行います。

- ① 河川区域は、基本的には兩岸の堤防の間ですが、堤防の形がさまざまですので、以下のように判断してください。

#### <調査区域の範囲（河川区域）>

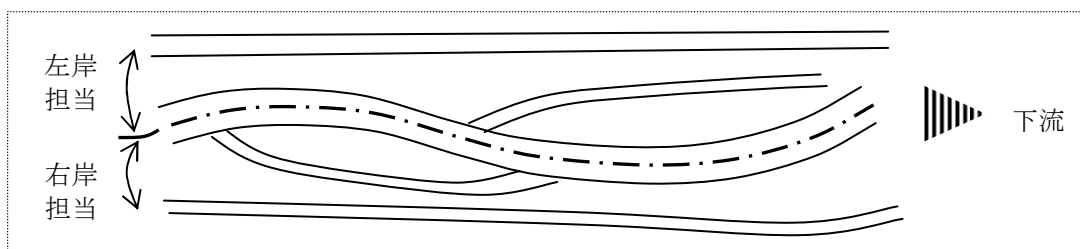


- 1) 堤防のあるところは、まち側の法面（斜面）の下までを範囲とします。また、ところどころ、まち側の法面の法面に土を盛り、樹木やベンチ等をおいているところは、まち側の建物、公園との境界までを範囲とします。
- 2) 堤防のないところは、山の際までを範囲としますが、適時判断してください。

## ②左右岸の調査範囲

多摩川の主流（水面幅の大きい流れ）は、洪水などで変化しますので、以下のよう  
に判断してください。

1) 大きな流れを主流として、その中央部を左岸、右岸の調査範囲とします。



3) 漁船やボート、カヌーなど動いている船は、気がいたら左岸、右岸双方でカウ  
ントしてください。上流部（小作堰上）は、左右岸一体調査をお願いします。

4) 中の島等、入りにくいところは、堤防上からの観察とします。

5) ホームレスのハウス、小屋などは、対岸の水際に発見しやすいので、気がついたら  
調査表の備考欄に、「対岸に〇〇棟」と記載してください。もちろん自らが担当す  
る側は、調査票に記入してください。

6) 取水のための堰の上で遊んでいる人たちは、だいたい中央部を境に左岸、右岸と  
して調査します。

## 4. その他の留意事項

- 調査は原則的に堤防の上からの観察を基本とします。どうしても水辺近くまで降りる場  
合は、足もとに十分注意してください。
- 堤防上を歩行する高速自転車との接触事故が多発していますので、舗装面を外れて歩い  
てください。
- トゲのある植物やマムシ等の危険がありますので、やぶや水中には入らないでください。
- ホームレスのテントなどには近づかないようにしてください。
- 調査員以外の方から調査について声をかけられたら、概要を説明して、詳しくは事務局  
に問い合わせをするように返答してください。
- 万一、事故やトラブル、あるいは調査方法等で分からない時は、下記に緊急電話をし  
てください。

<当日緊急連絡先>事務局①090-8313-3764（山道）事務局②090-8509-2002（長倉）

なお、この調査は、住民参加型調査ですので、精緻な調査を求めているわけではありません。  
大まかな利用状況を知ることが目的です。決して無理をなさらないようお願いいたします。調査が終  
わりましたら、各回の集計をしたものをファクシミリ、電子メール、郵送等で事務局までお送り  
下さい。デジタルカメラで撮影した画像データは、プリントして送付するか、メールに添付して  
事務局までお送り下さい。インスタントカメラで撮影した場合は、現像せずにそのままお送りく  
ださい。郵送等の費用は事務局が負担しますが、一時的に立て替えていただきます。ご不明な点  
は事務局にお問い合わせください。今回は、全体で約13名の方々が調査に参加します。新たな試  
みとして、多摩川流域にキャンパスのある大学生や流域外の方々も参加されます。特に大学生は、  
川の環境やコミュニティ、まちづくり等を専攻している人たちです。多摩川でこれまで活動され  
た方々とパートナーを組むことになりました。調査しながら、多摩川のことなどをご教示くだ  
されれば幸いです。

どうかくれぐれも事故やトラブルのないよう、よろしくお願いいたします。

\*\*\*\*\*

《西暦2010年の多摩川を記録する運動実行委員会》

事務局：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-20-14-301

NPO法人 多摩川センター内

(P)03-3479-0166 (F) 03-5772-1608

実行委員：横山十四男,石田幸彦,大石悌司,小林幸治,山道省三

### ③活動資金の調達と2000年時の映像資料のDVD化及び後援依頼について

活動資金の調達に関しては、2008年度の財団法人とうきゅう環境浄化財団の一般研究(2カ年)の助成申請を行い、採択された。(2008年7月確定-2カ年-)

この申請の目的は、2000年時のビデオテープ、フィルム等の映像資料をDVD化し公開するための228点のDVD資料の制作と、2010年の活動に関する事前準備のための経費調達であった。DVD化された映像資料は、各2セット制作し、2009年4月より、二ヶ領せせらぎ館(川崎市多摩区宿河原, NPO法人多摩川エコミュージアムが管理)、多摩川ふれあい教室(東京都府中市府中郷土の森博物館内, NPO法人多摩川センターが管理)の二ヶ所で常時放映することになった。(資料⑥)

また、財団法人とうきゅう環境浄化財団(当時)への助成金申請は、2010年度も単年度活動実施を目的に行い助成を得た。

|         |        |            |
|---------|--------|------------|
| ※ 助成決定額 | 2008年度 | 481,000円   |
|         | 2009年度 | 477,000円   |
|         | 2010年度 | 794,000円   |
|         | 合計     | 1,752,000円 |

その他、後援名義申請として、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 元永秀所長宛に依頼し、2010年1月24日から2011年1月23日までの後援名義使用の許可を得た。

なお、当事務所からは、「多摩川河川改修平面図, 直轄区間 1/2000 縮小版」の提供を受けた。

資料 - ⑥ 2000年時に収集した映像資料リスト

| No. | タイトル(行事、イベント、祭りなど)      | 撮影日                    | 時間(分) | 備考          |
|-----|-------------------------|------------------------|-------|-------------|
| 1   | 次太夫堀公園(民家園の正月)          | 2000/1/1               | 3.30  | 世田谷区内       |
| 2   | 岡本民家園(小正月とドンド焼き)        | 2000/1/16              | 6.00  | 世田谷区内       |
| 3   | 野川清掃と世田谷サケふ化場           | 2000/1/16              | 12.00 | 多摩川サケの会     |
| 4   | 第20回サケ放流式(NHKマイビデオ含む)   | 2000/2/10              | 9.50  | 多摩川サケの会     |
| 5   | 第1回さくら植樹祭り(川崎)          | 2000/2/20              | 20.00 | 多摩川さくらの会    |
| 6   | 第14回中原桃まつり(川崎)          | 2000/3/12              | 6.00  | 二ヶ領用水       |
| 7   | 宿河原堰 竣工式(川崎)            | 1999/3/27              | 30.00 |             |
| 8   | 二ヶ領せせらぎ館 開館式(川のコンサート)   | 1999/3/27              | 17.00 |             |
| 9   | 花見の川下り                  | 2000/4/1               | 10.00 | 多摩川リバーシップの会 |
| 10  | はむら春の例大祭                | 2000/4/9               | 5.00  | 羽村市内        |
| 11  | ふっささくらまつり               | 2000/4/9               | 3.30  | 福生市内        |
| 12  | 青梅例大祭(住吉神社)             | 2000/5/3               | 9.40  | 青梅市内        |
| 13  | 奥多摩湖とダム                 | 2000/5/4               | 3.00  |             |
| 14  | 第14回多摩源流まつり             | 2000/5/4               | 12.00 | 山梨県小菅村      |
| 15  | 多摩源流まつり、源流手打ちそば         | 2000/5/4               | 13.00 | 山梨県小菅村      |
| 16  | ささら獅子舞(川井)              | 2000/5/5               | 10.00 | 川井八幡神社      |
| 17  | 東京消防庁 総合水防演習            | 2000/5/26              | 13.20 | 世田谷区内       |
| 18  | 多摩川クリーン作戦(川崎市)          | 2000/6/4               | 11.20 | 中央会場        |
| 19  | 第25回かわしん稚魚放流大会          | 2000/6/4               | 6.00  | 川崎市信用金庫     |
| 20  | 少年野球大会開会式               | 2000/6/4               | 4.00  | 川崎市高津区内     |
| 21  | 丸子橋 開通式                 | 2000/6/10              | 6.00  | 東京都・川崎市     |
| 22  | 若鮎おどる                   | 2000/6/10              | 3.00  | 調布堰         |
| 23  | 西暦2000年の多摩川を記録する運動 総務会  | 2000/6/16              | 18.30 | 多摩川センター     |
| 24  | 多摩川河川環境モニター調査(下流)       | 2000/6/18              | 18.45 | 多摩川センター     |
| 25  | 西暦2000年の多摩川を記録する運動 全体総会 | 2000/6/23              | 9.00  | 多摩川センター     |
| 26  | 野川 農の風景                 | 1995/5/6-<br>2000/1/23 | 18.00 | 野川          |

| No. | タイトル(行事、イベント、祭りなど)          | 撮影日           | 時間(分)  | 備考                       |
|-----|-----------------------------|---------------|--------|--------------------------|
| 27  | 多摩川いかだレース                   | 2000/7/23     | 12.00  | 狛江市内                     |
| 28  | 多摩川源流観察会(笠取山)               | 2000/7/29-30  | 18.00  | 多摩川の自然を守る会               |
| 29  | 香淳皇后 武蔵野東陵                  | 2000/8/2      | 4.30   | 一般参拝日                    |
| 30  | 伝統漁法(日野漁協)                  | 2000/8/6      | 10.30  | 多摩川漁協日野支部                |
| 31  | 高幡不動尊                       | 2000/8/6      | 2.45   |                          |
| 32  | やあやあキッズフェスタin多摩川            | 2000/8/6      | 5.30   | 調布市内                     |
| 33  | やあやあキッズフェスタ 水中観察会           | 2000/8/6      | 3.20   | 多摩川センター協賛                |
| 34  | 生田の送り火(還燈会)                 | 1999/8/20     | 8.00   | 川崎市内                     |
| 35  | 多摩川水上バス(河口下り)               | 1999/8/22     | 15.40  | 川崎市内                     |
| 36  | 多摩川の源流を語る集いと写真展             | 2000/8/26     | 21.00  | ニヶ領せせらぎ館                 |
| 37  | 第19回調布市花火大会(灯籠流し・ナイガラ・打ち上げ) | 2000/8/30     | 10.30  | 調布市内                     |
| 38  | アドベンチャーin多摩川 いかだ下り大会        | 2000/9/3      | 11.35  | 世田谷区青少年委員会               |
| 39  | 多摩川温度・多摩川梨もぎ温度(北原白州作詞)      | 2000/10/15    | 11.00  | 川崎市多摩区文化祭                |
| 40  | 増水後の宿河原堰                    | 2000/9/13     | 3.15   | 多摩川左岸より                  |
| 41  | 府中市市民芸術文化祭(木遣り・万作おどり・古民謡)   | 2000/9/17     | 41.00  | 府中市内                     |
| 42  | 水中観察会                       | 1997/8/24     | 7.00   | 多摩川ふれあい教室                |
| 43  | ウグイは生きていた                   | 2000/9/29     | 3.00   | 多摩川水道橋上                  |
| 44  | 鯉の環境ホルモン調査                  | 2000/10/26    | 8.00   | 川崎漁協                     |
| 45  | ふるさと残影(川崎、BGM入り)            | 1998/9/25     | 9.20   |                          |
| 46  | ふれあいウォークin多摩川               | 2000/10/14    | 8.00   | 京王グループ主催                 |
| 47  | 小菅川の実踏調査と村民懇話会              | 2000/10/21    | 40.40  | 小菅村役場と中村会長               |
| 48  | 多摩川の鵜飼い(講演)                 | 2000/10/21    | 7.40   | 郷土史研究家角田益信氏              |
| 49  | 多摩川の筏流し(講演)                 | 2000/10/16    | 60.00  | 郷土史研究家角田益信氏              |
| 50  | 多摩川両岸の地名(講演)                | 2000/11/25    | 120.00 | 金子欣三氏                    |
| 51  | 多摩川水害と築堤運動(講演)              | 2000/12/2     | 120.00 | 長島 保氏                    |
| 52  | 多摩川上流から河口の四方山話(講演)          | 2001/1/20     | 120.00 | 上田 恒三氏                   |
| 53  | 第1回多摩川源流フォーラム(丹波山村)         | 2000/11/3-4   | 140.00 | 多摩川源流観察会・源流を訪ねる会・多摩川と語る会 |
| 54  | 丹波溪谷秋色                      | 2000/11/4     | 8.20   | 丹波山村内                    |
| 55  | 晩秋の奥多摩                      | 2000/11/26-27 | 17.00  | 1998と合作                  |
| 56  | 百草園落ち葉たき                    | 2000/11/23    | 5.20   | 京王百草園                    |
| 57  | 百草園紅葉祭り                     | 2000/11/23    | 4.00   | 京王百草園                    |
| 58  | 多摩市 市民清掃デー                  | 2000/11/11    | 10.00  | 多摩市                      |
| 59  | 高幡不動尊(七五三、菊祭り)              | 2000/11/11    | 2.15   | No.31と合作                 |
| 60  | 市民生活を支えるエネルギーと廃棄物を考える       | 2000/11/20    | 26.00  | ニヶ領せせらぎ館多摩川              |
| -61 | ①東電東鹿島火力発電所 ②川崎市浮島処理センター    |               |        | 環境学習プロジェクトチーム            |
| 62  | 川崎港を海上から見学                  | 2000/12/5     | 25.00  | 同上                       |
| 63  | 海苔づくり体験と大師の海(講演)            | 2000/12/5     | 28.00  | 川崎の海の歴史保存会・斎藤金作氏         |
| 64  | 川崎市市民マラソン大会                 | 2000/11/19    | 6.50   | 川崎市内                     |
| 65  | キクイモ堀と料理                    | 2000/12/10    | 13.40  | 多摩川ふれあい教室                |
| 66  | 親子餅つき大会                     | 2000/12/24    | 8.30   | 岡本民家園                    |
| 67  | 初詣川崎大師                      | 2001/1/3      | 11.30  |                          |
| 68  | 江戸東京たてもの園                   | 2001/1/13     | 5.30   | 小金井公園                    |
| 69  | 小金井公園さくらまつり                 | 1998/4/5      | 5.40   | 小金井公園                    |
| 70  | アユ解禁(秋川)                    | 1997/6/1      | 9.50   | 秋川                       |
| 71  | 多摩川右岸61.5~45km              | 2000/3/13~    | 60.00  | 青梅万年橋~八高線下               |
| 72  | 多摩川右岸45~32km                | 2000/4/30~    | 620.00 | 八高線~大丸堰下                 |
| 73  | 多摩川右岸32~20km                | 2000/9/22~    | 60.00  | 大丸堰下~宇奈根                 |
| 74  | 多摩川右岸20~10km                | 2000/10/22~   | 60.00  | 宇奈根~ガス橋下                 |
| 75  | 多摩川右岸10~0km                 | 2000/11/19~   | 50.00  | ガス橋~河口                   |
| 76  | 多摩川左岸7~0km                  | 2001/1/28     | 28.00  | 六郷土手駅~河口                 |
| 77  | よみがえれ多摩川(BGMナレ入り)           | 1983/         | 16.00  | テレビ作品                    |
| 78  | よみがえるニヶ領用水(BGMナレ入り)         | 1987/         | 25.00  | テレビ作品                    |
| 79  | 多摩川梨のふるさと(BGMナレ入り)          | 1986/         | 20.00  | テレビ作品                    |
| 80  | 東京っ子サケ(第1回、BGMナレ入り)         | 1982/         | 17.00  | テレビ作品                    |
| 81  | 民俗行事はいま…(セエノカミ、初卯祭、初不動)     | 1991/         | 17.00  | 川崎市内                     |
| 82  | 川崎の奇祭かなまら祭り(BGMナレ入り)        | 1993/         | 13.00  | 川崎市内                     |
| 83  | 知る区ロード登戸(BGMナレ入り)           | 1989/         | 15.00  | 川崎市内                     |



| No. | タイトル(行事、イベント、祭りなど)                  | 撮影日                | 時間(分) | 備考                                              |
|-----|-------------------------------------|--------------------|-------|-------------------------------------------------|
| 84  | 祭りばやし(多摩区民祭)                        | 1989/              | 12.00 | 川崎市内                                            |
| 85  | 奥多摩秋色(BGM入り)                        | 1998/              | 8.45  | 御岳溪谷                                            |
| 86  | かやぶきの民家は今                           | 1997/              | 18.00 | 日本民家園                                           |
| 87  | 水行(滝開き)                             | 1998/4/            | 4.40  | 高尾山                                             |
| 88  | 火渡祭り                                | 1999/3/            | 6.10  | 高尾山                                             |
| 89  | みんなでつくるピオトープ                        | 1999/7/18          | 11.30 | 野川第二調整池                                         |
| 90  | 市民が燃える街(八王子)                        | 1998/8/            | 9.40  | 八王子市内                                           |
| 91  | 飛ぶ宝石(カワセミ)                          | 1996/3/            | 6.00  | 大栗川合流点                                          |
| 92  | 吉野梅郷梅まつり                            | 1997/3/            | 10.20 | 日向和田付近                                          |
| 93  | 東京スタジアム内覧会                          | 2001/2/12          | 8.10  | 調布市内                                            |
| 94  | 多摩川源流ラン(河口スタート1区)                   | 2001/2/11          | 12.50 | 日野走友会                                           |
| 95  | 多摩川市民アクション(稲毛、ニヶ領用水)                | 2001/2/17          | 25.40 | 多摩川市民フォーラム                                      |
| 96  | 多摩川水道橋開通式                           | 2001/3/25          | 11.20 |                                                 |
| 97  | 日原溪谷(日原川~カノウ谷)                      | 2001/4/7           | 17.20 | アースマンシップ自然環境教育センター岡田敦氏                          |
| 98  | 多摩川の魚を知る                            | 2001/5/12          | 10.25 | 多摩川ふれあい教室                                       |
| 99  | 多摩川の水質を調べよう                         | 2001/5/27          | 13.00 | 多摩川ふれあい教室                                       |
| 100 | 神田川源流探訪                             | 2001/5/20          | 5.40  | 井の頭公園                                           |
| 101 | 絹の道                                 | 2001/5/17,<br>6/6  | 11.00 | 絹の道博物館と養蚕農家                                     |
| 102 | 多摩川源流ラン(白丸ダム~魚道幹線)                  | 2001/6/10          | 8.00  | 日野走友会                                           |
| 103 | 台風15号による多摩川洪水攪乱野調査(洪水編)             | 2001/9/11          | 13.30 | 真木世之氏と共作                                        |
| 104 | 台風15号による多摩川洪水攪乱野調査(攪乱編)             | 2001/10/6          | 26.00 | 多摩川センター                                         |
| 105 | 小河内まつり(鹿島踊、獅子舞、花神楽)                 | 2001/9/15          | 15.30 | 小河内神社                                           |
| 106 | 川の流れるように                            | 2001/10/15         | 5.00  | (唄)美空ひばり                                        |
| 107 | さようなら向ヶ丘遊園                          | 2001/10/16         | 13.00 | 2002年3月閉園                                       |
| 108 | 深大寺だるま市                             | 1999/3/3           | 4.10  | 調布市内                                            |
| 109 | 多摩川源流ラン(丹波山村~笠取山水干)                 | 2001/10/27~<br>28  | 20.40 | 日野走友会                                           |
| 110 | サケよ帰れ多摩川へ 第1回、第19回合作品               | 1982/<br>1999/2/14 | 9.45  | 多摩川にサケを呼ぶ会、<br>多摩川サケの会                          |
| 111 | 水と清流を(自然観察会の記録)<br>(BGM大倉芳郎作詞「多摩川」) | 1982/              | 34.00 | 多摩川の自然を守る会                                      |
| 112 | NHKとれたてマイビデオ                        | 2000/              | 7.00  | 2/15サケ放流、2/25川<br>下り、7/28、2/いかなだレ<br>ス、6/1魚を知ろう |
| 113 | 総集編 多摩川の水はどこからか                     | 2000/              | 9.50  |                                                 |
| 114 | 総集編 奥多摩路                            | 2000/              | 18.30 |                                                 |
| 115 | 総集編 青梅万年橋~浅川合流点                     | 2000/              | 30.00 |                                                 |
| 116 | 総集編 浅川(伝統漁法)美化運動                    | 2000/              | 60.00 |                                                 |
| 117 | 総集編 二子橋下~河口                         | 2000/              | 49.00 |                                                 |
| 118 | 総集編 水上バス ~河口下り~                     | 2000/              | 6.00  |                                                 |
| 119 | 奥多摩むかし道                             | 1996/10/           | 11.00 |                                                 |
| 120 | 多摩川左岸(61.5km~河口、1km毎)               | 1997/~1999/        | 約6h   | 編集集中                                            |

| No. | タイトル(行事、イベント、祭りなど)      | 制作年月       | 時間<br>(分, 秒) | 製作者名   |
|-----|-------------------------|------------|--------------|--------|
| 1   | 玉源流の里(小菅村、BGMナレ入り)      | 1998/8/1   | 13.00        | 渡会 猛   |
| 2   | 狭山湖見学会(山口貯水池)           | 1998/6/4   | 17.00        | 井山 巖   |
| 3   | 生まれ変わる山口貯水池             | 1998/11/18 | 4.00         | 井山 巖   |
| 4   | 奥多摩湖(ダム施設見学)            | 1998/11/21 | 7.30         | 井山 巖   |
| 5   | 緑と水辺の豊かな日野のまち(BGM入り)    | 2000/6/10  | 6.00         | 井上 源五  |
| 6   | 空のさんぽ道(多摩モノレール、BGM入り)   | 2000/8/30  | 6.30         | 井上 源五  |
| 7   | 春だ、出会いだ、多摩川だ            | 1999/2/28  | 8.50         | 小川名 隆義 |
| 8   | 多摩川「いい川づくり」牛糞づくり        | 1999/7/31  | 14.15        | 小川名 隆義 |
| 9   | 多摩川芋煮会、リバーアート、ミニコンサート   | 1999/10/31 | 11.20        | 小川名 隆義 |
| 10  | SETAGAYA町の賢人(松井由紀さん)    | 2000/4/    | 17.00        | 坂本 光三  |
| 11  | ほたるの里三鷹村(活動記録)          | 1999/      | 42.00        | 小池 政勝  |
| 12  | 葦の詩                     | 1998/10/12 | 13.30        | 上田 昌男  |
| 13  | 青梅線をめぐる四季の想い出(BGM、ナレ入り) | 1983/4/    | 12.30        | 鈴木 義行  |
| 14  | 湧水に想う(BGM、ナレ入り)         | 1992/      | 7.32         | 鈴木 義行  |
| 15  | さけ(鮭)(NGM、ナレ入り)         | 1988/      | 7.30         | 鈴木 義行  |
| 16  | 鮭のふるさと(BGM、ナレ入り)        | 1998/      | 7.30         | 鈴木 義行  |
| 17  | 多摩川流水 静・寂・激(BGM入り)      | 1998/9/    | 4.00         | 細島 美佐男 |



| No. | タイトル(行事、イベント、祭りなど)         | 制作年月       | 時間<br>(分, 秒) | 製作者名                         |
|-----|----------------------------|------------|--------------|------------------------------|
| 18  | 多摩川讃歌                      | 1998/6/    | 3.00         | 細島 美佐男                       |
| 19  | 水枯れ多摩川                     | 1998/8/    | 3.00         | 細島 美佐男                       |
| 20  | 多摩川増水、ゴミ                   | 1998/9/    | 13.20        | 細島 美佐男                       |
| 21  | 多摩川川鶉                      | 2000/11/   | 5.35         | 細島 美佐男                       |
| 22  | 多摩川どんと焼き                   | 1994/1/    | 11.20        | 細島 美佐男                       |
| 23  | 雪のどんと焼き                    | 1998/1/    | 9.50         | 細島 美佐男                       |
| 24  | 調布の渡し(BGM、ナレ入り)            | 1996/4/    | 9.30         | 細島 美佐男                       |
| 25  | 桜 満開                       | 1996/4/    | 5.45         | 細島 美佐男                       |
| 26  | 調布市ふるさと祭り                  | 2000/8/    | 6.00         | 細島 美佐男                       |
| 27  | やあやあキッズフェスタ—in多摩川          | 2000/8/    | 14.30        | 細島 美佐男                       |
| 28  | 霧立つ多摩川                     | 1991/1/    | 3.           | 佐藤 憲正                        |
| 29  | 車人形(第1回奥多摩芸能祭)             | 1992/11/   | 26.00        | 鹿島 茂男                        |
| 30  | 獅子舞(第1回奥多摩芸能祭)             | 1992/11/   | 19.50        | 鹿島 茂男                        |
| 31  | 陽だまり(神代植物園、BGM入り)          | 1998/2/    | 14.50        | 鹿島 茂男                        |
| 32  | 仙川丸池復活への道(ワークショップ、BGMナレ入り) | 2000/4/8   | 57.30        | 丸池復活プランづくり運営委員会(財)三鷹市まちづくり公社 |
| 33  | 多摩川(東京エイト共同作品)             | 1982/      | 60.00        | 東京映像                         |
| 34  | 村里昔ばなし(BGM、ナレ入り、アニメ)       | 2000/      | 5.15         | 鈴木 義行                        |
| 35  | ブラックバスのつぶやき(BGM、ナレ入り、アニメ)  | 2000/      | 6.00         | 鈴木 義行                        |
| 36  | 水辺の宝石                      | 1994/7/    | 8.00         | 志鎌 年泰                        |
| 37  | 溪流のハンター                    | 2000/10/   | 3.50         | 志鎌 年泰                        |
| 38  | 水の面                        | 1999/5/    | 11.00        | 志鎌 年泰                        |
| 39  | 若葉の頃                       | 1997/5/    | 7.00         | 志鎌 年泰                        |
| 40  | 多摩川の野鳥                     | 1983/      | 15.00        | 志鎌 年泰                        |
| 41  | 西暦2000年の多摩川を記録する運動 第1回全体集会 | 1998/5/30  | 60.00        | 安井寿々代、中山太一                   |
| 42  | 和船かわせみ郷                    | 1998/8/    | 3.46         | 佐藤 好子                        |
| 43  | 春に備えて～芝やき～                 | 1998/2/    | 4.10         | 佐藤 好子                        |
| 44  | どんと作り                      | 2000/12/12 | 5.00         | 佐藤 好子                        |
| 45  | 河川敷のどんと焼き                  | 2001/1/21  | 3.50         | 佐藤 好子                        |
| 46  | 河川敷の家                      | 1996/      | 19.45        | 故 佐藤六郎                       |
| 47  | 郷土の森(府中市)                  | 1999/3/    | 4.00         | 松本 幸彦                        |
| 48  | 神代植物園                      | 1999/5/    | 3.40         | 松本 幸彦                        |
| 49  | 昭和記念公園(花)                  | 1998/5/    | 2.30         | 松本 幸彦                        |
| 50  | 昭和記念公園(ファンタジー)             | 1998/12/   | 4.00         | 松本 幸彦                        |
| 51  | 夢追い多摩川探訪記                  | 1996/      | 18.20        | 矢島 健                         |
| 52  | 鮭が来た道                      | 1997/9/    | 20.00        | 矢島 健                         |
| 53  | まごまご便り                     | 1999/9/    | 20.00        | 矢島 健                         |
| 54  | 立日橋開通式                     | 1991/3/15  | 15.00        | 東 尚士                         |
| 55  | 初秋の日野橋付近                   | 1992/9/27  | 10.00        | 東 尚士                         |
| 56  | 第3回浅川で手をつなごう               | 1999/11/24 | 7.30         | 東 尚士                         |
| 57  | 日野温度(唄 花村菊江)               | 1982/9/30  | 4.50         | 東 尚士                         |
| 58  | 四季は永遠に～変わるは生物のみ～           | 1955-1956/ | 16.15        | 東 尚士                         |
| 59  | 賽の神のひとりごと(No.44,45の合作品)    | 2001/1/    | 6.00         | 佐藤 好子                        |
| 60  | 湖面は錦に彩られ～小河内ダム～            | 1998/11/27 | 4.30         | 石橋 節子                        |
| 61  | さくらとチューリップ～羽村～             | 1998/4/    | 5.00         | 石橋 節子                        |
| 62  | 御岳から沢井を撮る                  | 1998/8/25  | 5.00         | 石橋 節子                        |
| 63  | 井の頭公園の春                    | 1999/4/    | 4.40         | 石橋 節子                        |
| 64  | 井の頭公園の五月雨                  | 1999/5/    | 4.40         | 石橋 節子                        |
| 65  | 空堀川 水と緑                    | 1999/4/30  | 3.15         | 石橋 節子                        |
| 66  | 五日市レクリエーション 多磨自然グループ       | 1960/8/7   | 4.25         | 東 陽一(尚士)                     |
| 67  | 秋川渓谷                       | 1961/8/12  | 4.30         | 東 尚士                         |
| 68  | 錦秋の奥多摩                     | 1999/11/19 | 13.00        | 宇賀 正弘                        |
| 69  | 黄落                         | 1999/11/19 | 3.35         | 宇賀 正弘                        |
| 70  | 夢の世紀へ～カウントダウン～             | 2000-2001/ | 12.20        | 藤原 浩                         |
| 71  | 晩秋の等々力渓谷                   | 1997/1/26  | 4.00         | 藤原 浩                         |
| 72  | サガミ;道志川へ(水遊び、投網)           | 1954/8/8   | 8.00         | 東 尚士                         |
| 73  | 野猿峠ハイキング                   | 1956/4/15  | 5.00         | 東 尚士                         |
| 74  | あじさいまつりの高幡不動               | 1997/6/21  | 8.30         | 東 尚士                         |
| 75  | 多摩川と遊ぼう                    | 1999/      | 15.30        | 安井 寿々代                       |
| 76  | 集まれ 多摩川に放流～うぐい～            | 1998/3/14  | 9.00         | 安井 寿々代                       |
| 77  | 神田川今昔                      | 1993/4     | 25.00        | 武山 正雄                        |
| 78  | 都市河川 神田川は今                 | 1996/7/24  | 10.00        | 武山 正雄                        |

| No. | タイトル(行事、イベント、祭りなど) | 制作年月  | 時間<br>(分、秒) | 製作者名     |
|-----|--------------------|-------|-------------|----------|
| 79  | 玉川上水               | 1987/ | 16.00       | 武山 正雄    |
| 80  | 新緑の丹波溪谷            | 1970/ | 10.00       | 武山 正雄    |
| 81  | 多摩川の一生             | 1962/ | 61.00       | 大島 俊正    |
| 82  | 武蔵野の水              | 1958/ | 30.00       | 故 師岡 宏次  |
| 83  | 山狭の詩(奥多摩町海沢)       | 1983/ | 16.00       | 故 上杉 正喜  |
| 84  | 一の瀬(水源の部落)         | 1983/ | 36.00       | 東京映像グループ |
| 85  | 玉堂の奥多摩             | 1982/ | 11.00       | 武山 正雄    |
| 86  | 私のバードウォッチング        | 1988/ | 20.00       | 志鎌 年泰    |

| No. | タイトル(番組名、作品名、行事名など)                | 放送年月日      | 時間<br>(分、秒) | 放送局・制作局     |
|-----|------------------------------------|------------|-------------|-------------|
| 1   | 関口浩のそして今(多摩川決壊事件)                  | 1992/6/2   | 20.00       | TBSテレビ      |
| 2   | 多摩川水害異例の最終弁論                       | 1990/10/25 | 6.30        | NHKニュース     |
| 3   | 多摩川は自然の博物館                         | 2001/7/26  | 9.00        | NHK特集       |
| 4   | 多摩歴史映像祭<br>1)多摩の生活 2)多摩の自然 3)多摩の文化 | 1994/8/6   | 60.00       | TAMAらいふ21協会 |
| 5   | 小さな旅(奥多摩紅葉狩り)                      | 1985/10/   | 28.00       | NHKテレビ      |
| 6   | 多摩川に学んだ15年(ゲスト(故)横山理子氏他)           | 1985/10/   | 28.00       | テレビ朝日       |
| 7   | 二ヶ領用水(どぶ川再生、ゲスト井田安弘氏)              | 1987/      | 3.00        | NHKニュース     |
| 8   | 二ヶ領用水(緑への歩み、ゲスト井田安弘氏)              | 1987/      | 28.00       | TVKテレビ      |
| 9   | 小さな旅(お大師さまのある街、長十郎梨のふるさと)          | 1987/      | 28.00       | NHKテレビ      |
| 10  | 風は世田谷～古式婚礼～                        | 1985/      | 13.00       | テレビ東京       |
| 11  | 風は世田谷～多摩川の詩～(ゲスト三田佳子)              | 1985/10/6  | 15.00       | テレビ東京       |
| 12  | 水中カメラで見た多摩川の現実(上中下流)               | 1992/4/21  | 22.00       | NTBテレビ      |
| 13  | 親子で多摩川自然紀行～河口～(ゲスト矢萩隆信氏)           | 1992/6/16  | 46.00       | NHKテレビ      |
| 14  | どうする東京の飲み水                         | 1992/9/26  | 15.00       | NHKテレビ      |
| 15  | 岸辺のアルバム 多摩川大決壊(ゲスト横山十四男氏)          | 1994/6/    | 10.45       | テレビ東京       |
| 16  | 小さな旅(多摩川光の春、川崎市)                   | 2001/2/4   | 28.00       | NHKテレビ      |
| 17  | いい旅夢気分～清流の里、春の奥多摩路                 | 1997/4/16  | 43.00       | テレビ東京       |
| 18  | 多摩川水質汚染と川の浄化(1971年)                | 2001/6/10  | 30.00       | NHK日曜特集     |
| 19  | 多摩川は自然の博物館                         | 2001/7/26  | 9.00        | NHK首都圏      |
| 20  | 川づくりに新たな挑戦 多摩川シンフォニー               | 2001/7/8   | 60.00       | TVKテレビ      |
| 21  | 川に魅せられた人びと 多摩川シンフォニー               | 2001/7/15  | 60.00       | TVKテレビ      |
| 22  | 川の日フォーラム(子どもが遊ぶ川づくり、ゲスト内田氏)        | 2001/7/7   | 60.00       | NHKテレビ      |
| 23  | 東京湾に下水が流出                          | 2001/10/17 | 25.00       | NHKテレビ      |

#### ④調査実施に向けての準備

調査員の募集については、前回から10年余経過していることもあり、新たな調査員の参加を促す必要から、多摩川流域の大学に在籍する環境や地域計画、土木の学生を対象に、それぞれ担当教官の許可を得て、ゼミを訪問し参加を呼びかけるとともに、多摩川流域各団体、河川管理者等に呼びかけた結果、[資料 - ⑦](#)に示す調査員の参加を得た。内、大学関係では、5校29名の参加を得た。

調査の詳細及び留意事項については、文書を作成[資料 - ⑧](#)するとともに、新旧の調査員の組み合わせ、自宅からの距離等を勘案し、担当者配置表および担当区域図等を配布した(2009年12月)。

また、第1回調査の直前に第1回全体集会を二ヶ領せせらぎ館にて2010年1月8日に開催し、37名の参加を得た。その折、実施要領、留意事項の確認、質疑等を行い、第1回の特別調査の内容を発表した。



第1回全体集会

## 西暦2010年の多摩川を記録する運動調査員名簿

～ 左 岸 ～

|           |       |       |       |
|-----------|-------|-------|-------|
| 0～2km     | 大石 宏  | 久保安之  | 佐藤修治  |
| 2～5km     | 石川武彦  | 増田直也  |       |
| 5～8km     | 井田達大  | 北間澄代  | 深谷じゅん |
| 8～11km    | 五十嵐美穂 | 大坪庄吾  | 阪根浩平  |
|           | 園田真澄  | 高橋 靖  |       |
| 11～14km   | 岩下 啓  | 高橋光夫  | 町田 陵  |
| 14～17km   | 佐々木洋平 | 関野裕介  | 谷 嘉之  |
|           | 三浦庸雄  |       |       |
| 17.9～19km | 浅井恵美子 | 二宮尚子  | 福沢篤史  |
|           | 森田英代  |       |       |
| 19～21km   | 押木 茜  | 押木市郎  | 押木利江子 |
| 21～23km   | 笠間三男  | 大谷昭訓  |       |
| 23～25km   | 絹山達也  | 堺かなえ  | 山道省三  |
|           | 狛江市住民 | 狛江市住民 |       |
| 25～27km   | 岡本浩史  | 金井 悠  | 杉山典子  |
|           | 本多紗絵  | 服部遥香  | 村田静哉  |
| 27～29km   | 伊藤 淳  | 木俣美樹男 | 斎藤嵩之  |
|           | 信太康輔  | 中田ひか理 |       |
| 29～31km   | 魚躬はるか | 魚躬みゆき | 大山京子  |
| 31～33km   | 佐藤慎一  | 佐藤優樹  | 佐藤理絵  |
|           | 島田潤一  |       |       |
| 33～35km   | 大野栄子  | 鷹野邦人  | 鷹野三千代 |
| 35～37km   | 大塚啓太  | 加賀美啓  | 小林英成  |
|           | 蜂須賀美保 | 和田綾子  |       |
| 37～39km   | 大谷和彦  | 栗原 茂  | 島村勇二  |
|           | 二宮 巍  | 丸本 大  |       |
| 39～41km   | 糸井 守  | 風間 健  | 北井治徳  |
|           | 佐藤新吾  | 清水明彦  | 山口康雄  |
| 41～43km   | 菅原京子  |       |       |
| 43～49km   | 奥山公子  | 加藤むつ子 | 桑原和江  |
|           | 桑原悠熙  | 小峰久行  | 田村成実  |
|           | 永井康淑  | 西山美津江 | 西山嘉文  |
|           | 保坂幸尚  | 山田康夫  |       |
| 49～53km   | 伊東 茂  | 菅野清衛  | 上西義仁  |
|           | 掛谷昇治  |       |       |
| 53～56km   | 石川 均  | 小作あき子 | 小嶋はるか |
|           | 松本芳子  | 山崎陽一  | 吉澤則明  |
| 56～62km   | 柴田隆行  | 柴田順子  | 柴田秀久  |
|           | 須長隆弘  | 有門廣海  |       |

～ 右 岸 ～

|       |       |       |          |
|-------|-------|-------|----------|
| 佐川秋海  | 佐川麻理子 | 田中利治  | 0～4km    |
|       |       | 安元 順  |          |
| 大橋金蔵  | 金子昭子  | 金子享史  | 4～7km    |
|       |       | 須山邦夫  |          |
| 塩原茂一  | 鈴木真智子 | 関崎泰良  | 7.4～10km |
|       | 中山博夫  | 関崎益男  |          |
| 大島勝夫  | 佐藤 厚  | 津脇梅子  | 10～13km  |
|       | 安田典子  | 堂谷紗希  |          |
| 川島康夫  | 小松直哉  | 相馬節良  | 13～16km  |
|       |       | 田中恵子  |          |
| 飯塚史乃  | 真田 強  | 寺戸 浩二 | 16～19km  |
|       | 原 誠宏  | 西上 綾子 |          |
| 伊藤美智子 | 斉藤光正  | 元永 秀  | 19～22km  |
|       |       | 山下亜希子 |          |
| 大川茂子  | 河村順子  | 橘田博行  | 22～24km  |
|       | 長島 保  | 橘田千江子 |          |
| 芦澤和也  | 木村 功  | 吉田恵美子 | 24～26km  |
| 阿波 博  | 永野元造  | 中村 要  | 26～28km  |
| 佐野浩治  | 多田笙馬  | 富田桜子  | 28～33km  |
| 森竹 郷  | 藤原靖夫  | 波木基真  |          |
| 山崎充哲  | 山崎穂垂  | 山崎愛柚香 |          |
|       | 吉本勇也  | 遊佐 達  |          |
| 岸 辰彦  | 原 俊彦  | 原 直子  | 33～37km  |
|       |       | 菱田 晃  |          |
| 小室一允  | 佐山公一  | 友保 邦弘 | 37～40km  |
| 林 公康  | 倉本 宣  | 林 恒至  | 40～43km  |
|       | 笹木延吉  | 大貫圭介  | 43～46km  |
| 諏訪祥子  | 諏訪 右  | 諏訪祐太  | 46～48km  |
|       | 石田幸彦  | 大津和文  | 48～51km  |
| 遠藤純一  | 大崎 玄  | 神 世千雄 | 51～54km  |
| 村上大作  | 杉本晋吾  | 白木正秀  |          |
| 石川 均  | 小作あき子 | 住吉貞文  | 54～56km  |
|       |       | 吉澤則明  |          |
| 柴田隆行  | 柴田順子  | 柴田秀久  | 56～62km  |
|       | 有門 廣海 | 須長隆弘  |          |

多摩川源流部 石坂真吾

※この名簿への氏名の公表については、調査員の承諾を得て掲載しています。

## 調査員各位

この度は、西暦 2010 年の多摩川を記録する運動に調査員としてご協力いただきますこと感謝申し上げます。

2010 年 1 月 24 日の第 1 回調査まで残すところ 1 か月となりましたが、調査員の皆様には、下記の通り運動の関係書式をお送りいたしますので、内容をご確認いただき、ご不明な点は、お早めに事務局にお問い合わせいただきたくお願いする次第です。

## &lt;送付資料&gt;

- ・ 西暦 2010 年の多摩川を記録する運動【実施計画】  
：調査の目的、内容、調査方法、留意点等につきまして詳しく明記していますので、ご参考にしてください。
- ・ 西暦 2010 年の多摩川を記録する運動・多摩川利用実態調査票  
：各回の調査で記入する調査票です。裏面に調査項目の区分や内容について説明しておりますので、ご参考にしてください。
- ・ 西暦 2010 年の多摩川を記録する運動～調査手順～  
：調査当日の作業手順や調査後のデータ等の送付についてフローにまとめています。
- ・ 調査区域及び配置図  
：各調査員の方々に担当していただく調査地の場所やキロ杭の位置、アクセス等、調査員のメンバー内訳等、ご参考にしてください。

## 調査員の配置について：

- ・グループ内で調整して下さって構いませんので、変更後の配置を調査票に記入して下さい。
- ・配置がどうしても不都合であれば、事務局まで早めに電話にてご連絡ください。
- ・地図の縮尺は、1cm が 1km です。最寄りの駅からかかる時間の目安にしてください。また地図の製作年が古いものがあり、道路や土地利用が変わっているところもありますので、ご注意ください。

\*デジタルカメラをお持ちでない方には、事務局よりインスタントカメラをお送りいたしますので、2010 年 1 月 8 日までに事務局までお電話(03-3479-0166)にてご連絡ください。

2009 年 12 月 24 日

西暦 2010 年の多摩川を記録する運動実行委員会

## &lt;問い合わせ・連絡先&gt;

西暦 2010 年の多摩川を記録する運動実行委員会事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-20-14-301

NPO 法人多摩川センター内

(P) 03-3479-0166

(F) 03-5772-1608

e-mail : tamagawa-center@r6.dion.ne.jp

また、調査員には、担当区間への待ち合わせや調査員の身分を示すものとして、右に示す缶バッジを配布し、調査時に携帯することとした。



調査員バッジ

毎回の調査時に実施した統一のテーマによる特別調査の内容を次に示す。

<特別調査の内容>

| 回     | 内 容                     | 方 法                       |
|-------|-------------------------|---------------------------|
| 第 1 回 | 堤防上から富士山が見える所の調査        | 地図上への書き込み                 |
| 第 2 回 | 調査区間(1km)に見られる花の咲いている植物 | カメラによる撮影<br>1km ごとに 5 点程度 |
| 第 3 回 | 水面で遊ぶカヌー、ボートの数          | 調査票への記入                   |
| 第 4 回 | 堤防沿いに建つ 5 階以上の建物の調査     | 地図上への書き込み                 |

ヒトの利用調査に関しては、2000年時の調査票をほぼ踏襲することとしたが、近年利用が増えた自転車については、スポーツタイプ、家庭用タイプ、車イス等に細分した。

資料 - ⑨

映像資料の追加収集と DVD 化は、大石委員に一任し、提供の呼びかけを行った。

第 1 回調査後、調査の結果報告と意見交換を目的とした第 2 回全体集会（2010 年 3 月 27 日）を開催した。集会の終了後、古老からの聞き取りを行った。資料 - ⑩

西暦 2010 年の多摩川を記録する運動  
多摩川利用実態調査票（第 1 回調査）

(事務局記入)

左 ・ 右 No. \_\_\_\_\_

| 調査者 : _____                              |                                |            |
|------------------------------------------|--------------------------------|------------|
| 調査日 : 2010 年 ____ 月 ____ 日               |                                | 天候 : _____ |
| 河口からの距離 : 右岸 ・ 左岸 _____ km ~ _____ km    |                                |            |
| 調査時間 : _____ 時 _____ 分 ~ _____ 時 _____ 分 |                                |            |
| 調査方法 : (人数を記入してください。内容は裏面参照)             |                                |            |
| 項目                                       | カウント用メモ欄 (“正” の字など)            | 合計(人)      |
| ①散策・休憩                                   |                                |            |
| ②自然観察                                    |                                |            |
| ③ 自転<br>車<br>な<br>ど                      | a.ロード,マウンテン,高速タイプ              |            |
|                                          | b.家庭用(同乗者含む)                   |            |
|                                          | c.車いす(付添含む)                    |            |
| ④釣り人(見ている人含む)                            |                                |            |
| ⑤ 水遊<br>び                                | a.水辺や水中で遊ぶ人                    |            |
|                                          | b.カヌー,ボート,ウインドサーフィなどインフラ無の水面遊覧 |            |
| ⑥野外料理(バーベキュー,食事会)                        |                                |            |
| ⑦野球(見ている人含む)                             |                                |            |
| ⑧サッカー・ラグビー(II)                           |                                |            |
| ⑨ジョギング                                   |                                |            |
| ⑩ゴルフ(練習含む)                               |                                |            |
| ⑪その他スポーツ                                 | ( ) 人, ( ) 人                   |            |
|                                          | ( ) 人, ( ) 人                   |            |
| ⑫モトクロス(河川敷内のバイク)                         |                                |            |
| ⑬ラジコン(飛行機やボート)                           |                                |            |
| ⑭船舶                                      | a.漁船,ボート等移動中                   |            |
|                                          | b.不法係留含む無人船                    |            |
| ⑮サバイバルゲーム(戦争ごっこ)                         |                                |            |
| ⑯ホームレスハウスや小屋                             |                                |            |
| ⑰ 其<br>他                                 | ( ) 人, ( ) 人, ( ) 人            |            |
|                                          | ( ) 人, ( ) 人, ( ) 人            |            |
| ⑱自動車                                     | 駐車場内( )台・駐車場外( )台              |            |
| <備考メモ>                                   |                                |            |

### <調査項目の内容>

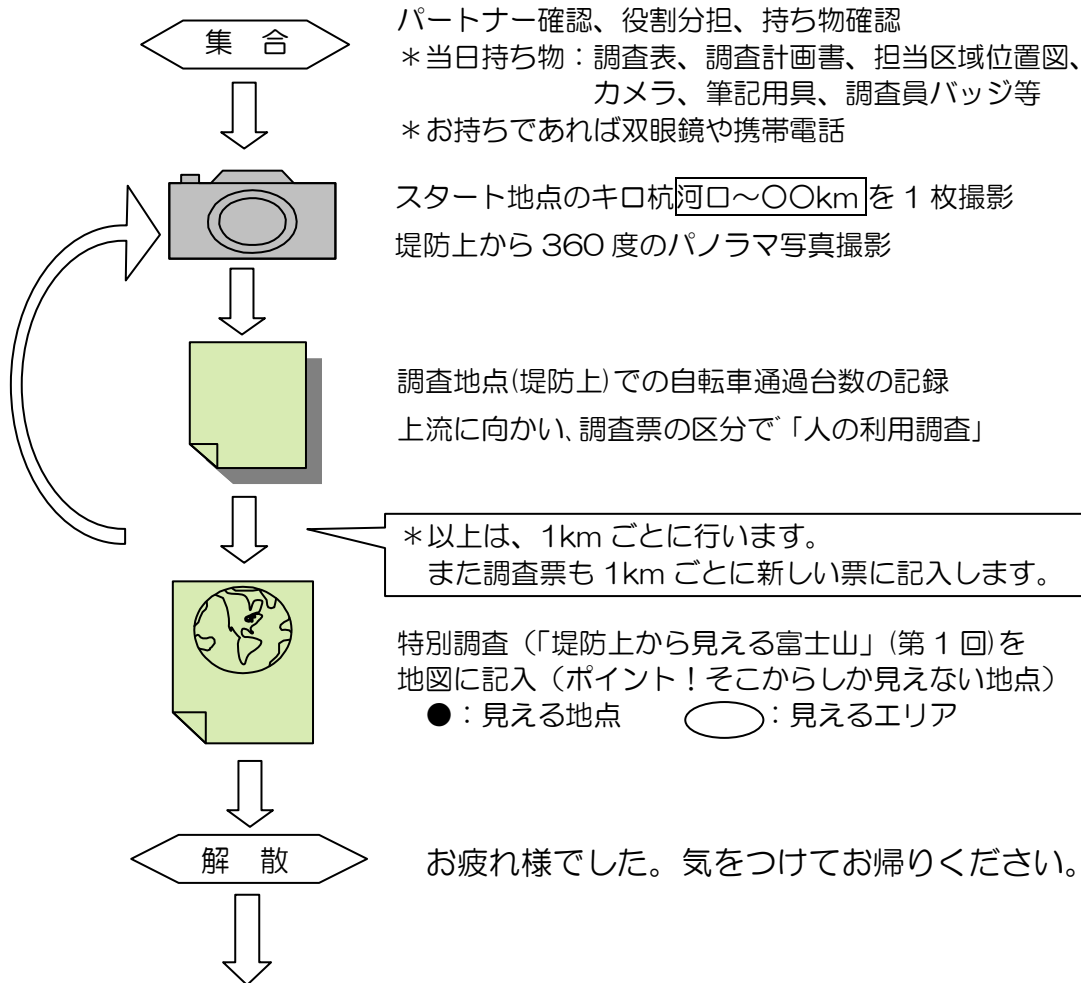
- ①散策・・・ぶらぶら歩いている人、ウォーキング、犬の散歩、休憩している人など
- ②自然散策・・・カメラや双眼鏡などを持っている人、野鳥や植物調査を行っている人
- ③自転車・・・ロードレーサー、マウンテンバイクなどにヘルメット等を装着、スポーツを目的とした a スピード走行の自転車タイプと、荷台などが付いた買い物用、子ども用、サイクリング用など b 家庭用タイプと c 車いす及び付添い人の3区分。
- ④釣り・・・魚を釣っている人や近くで見ている人
- ⑤水遊び・・・a 水の中で遊んだり、水辺の近くにいる人、b カヌー、ウィンドサーフィンなど用具を用いて遊んでいる人 ただし、ジェットスキーなど動力（エンジン）付きの場合は⑭へ
- ⑥野外料理・・・バーベキューや食事会を行っている人
- ⑦野球・・・グラウンドや広場で野球やキャッチボールをしている人や、応援したり眺めている人
- ⑧サッカー・ラグビー・・・グラウンドや広場で試合や練習している人、応援したり眺めている人
- ⑨ジョギング・・・ジョギングやマラソンをしている人
- ⑩ゴルフ・・・ゴルフをしている人、練習している人
- ⑪その他スポーツ・・・野球、サッカー、ラグビー、ゴルフ、ジョギング以外のスポーツ（らしき）をしている人
- ⑫モトクロス・・・オートバイで川原を走っている人、停めて休んでいる人
- ⑬ラジコン・・・ラジコンを使った飛行機、ミニカー、ボート等で遊んでいる人
- ⑭船舶・・・a 移動中の船舶：漁船、プレジャーボート、ジェットスキー等の動力船の数  
b 係留中の船：不法係留含む人が乗船していないような船舶の数
- ⑮サバイバルゲーム・・・迷彩服等を着て戦闘ゲームをしている人、付添いの人
- ⑯ホームレスハウス・・・仮囲いのテントや小屋の数（中を覗いたり、話しかけたりするとトラブルになるため、遠くから数えてください。）
- ⑰その他・・・上記に該当しないものに関しては、内訳と人数を記入します。
- ⑱自動車・・・河川敷地内の自動車、a 駐車場内、b 駐車場外の駐車台数を記入します。

### <第1回特別調査>（案）

この特別調査は、これから行う2010年1月・4月・7月・10月・2011年1月の冬春夏秋冬の計画5回を予定している利用実態調査にくわえ、毎回特別調査を考えています。2010年の第1回（2010年1月24日）は冬の時期を利用し、事務局案として「堤防上から見える富士山」を特別調査としたいと考えます。①利用実態調査を行う堤防上から富士山が見える位置を記入します。お送りした調査区域を示す地図上に（点であれば「●←富士山」、エリアであれば「○←富士山」）記入し、後日調査データとともにお送りください。なお、この特別調査案は、来年1月9日の全体集会で決定します。変更の通知がない限り、この案で調査を行います。

## 西暦 2010 年の多摩川を記録する運動 ～調査手順～

調査当日と、調査後の手順ですので、参考にしてください。



## デジタルカメラを利用の方

- ①画像データと調査票をメールに添付して事務局に送信。  
 (添付ファイルは一度に 10 メガバイト以内でお願いします)
- ②コンビニや DPE でプリントし、調査票と合わせて、事務局に郵送 (郵送は切手代として後日精算しますので、領収証を受取ってください)

## インスタントカメラを利用の方

事務局からお送りしたインスタントカメラをご利用ください。  
 カメラ 1 基で調査 2 回分使用しますので、2 回分の調査が終わったら、現像せずにカメラごとそのまま返信用封筒にて、調査票と一緒に返送してください。

注：この表に示した特別調査は、第 1 回 (2010 年 1 月) の調査方法を示した。その他の回における特別調査は、各回の事前に調査者に担当区域図、調査票、その他の注意事項等を郵送等で通知した。



西暦2010年の多摩川を記録する運動全体集会  
 討論会テーマ:「多摩川の利用の10年を振り返る」議事録

◇日時: 2010年3月27日(土)15:00~16:30

◇二ヶ領せせらぎ館(2F会議室)

◇出席者:

長島保, 中山博夫, 須山邦夫, 大橋金造

真田強(以上、たま・エコPJ)

「西暦2000年の多摩川を記録する運動」調査員他

(司会) それでは、これより皆さんのお話を伺います。10年前に調査した方から、現在との違いをご感想を改めてご発言いただきたいと思います。

- 一番感じたことは川が綺麗になった。歩いていると以前はゴミがずいぶんありました。特に川岸なんかはゴミが多くて、とても歩けなかったです。もう一つ感じたのはブルーテントが増えました。ブルーテントがある土手に、堤防があった所なんですけど、土手を写真に写していたら住人が飛んできた。なんで写すんだと。そこで言い合いになりました。お前はどこのもんだと。それで写真を見てくれて写真を見せてとめめました。ヘタすると囲まれてカメラも取られてしまうので注意しないとイケません。
- 彼らは、お前は役所のもんかというので、そうじゃないと。我々を撮って追い出すのか?と喧嘩になって、仲間がでてる。京浜急行の鉄橋の少し上流、そこに明治製菓があって、その岸壁が残っていて、そこにテントがあったのですが、今はその下にもテントがあって、そのレンガを写せなくなってしまう。スーパー堤防が出来たところにマンションがどんどん出来てきました。川の蛇行が昔見えたんですけど、明治43年の時に壊れたものが良く見えていたのですが、新しいマンションで見えなくなってしまいました。先程の水が綺麗だったという話ですが、第1回の調査で多摩川を歩こう会の団体と会いました。最近多摩川が綺麗になって歩く人が多くなって良いなと思いました。
- 西暦2000年時は多摩川の河口から始めたんですけど、その当時の現地はヨシが生えていて、ゴミがあるんですね。今はシジミが取れるということでシジミ取りをする人がいますが、多摩川の水が綺麗になって、透明度が高くなったと思います。
- 浅草海苔が見つかっていまは育てていると聞いています。
- 処理水が大体5割とか7割とか。処理場から出る水はきれいになっていますが、水温が高いと聞きます。東京湾がどんどん亜熱帯化してきていて、熱帯魚もいるということです。
- 水量はどうなんでしょうか?
- 水量は変わらないんじゃないでしょうか。味の素工場は汚水を流して、ゴミが溜まっている。その他は岸边に寄せるゴミが減ってきていますね。
- ゴミは減っていますよね。クリーン作戦かなんかの効果でしょうか。以前驚いたのは自動車なんかも捨てられていたのですが、さすがになくなりましたね。水も綺麗になったしゴミもなくなりました。これで泳げるようになれば万々歳ですけどね。
- もうそろそろ時期的に水上スキーなんかも出てきますよね。私らが子供の時は川辺に降りたら臭くて、すぐ離れなくちゃいけなかったが、今はもう臭いもないですよ。
- 私はせせらぎ館に窓口の当番をしたり、丸子橋の所に昭和36年から住んでいます。桜がちょうど咲き始めて、良い場所なのですが、調査の結果、自転車がとても変わってスピードの出る自転車になったと感じています。公園がどんどん整備された為に、野球やサッカーをするなど、目的をもってその場所に来ています。三番目はブルーテントが増えて、川崎区の運動公園の周りのテントは撤去されてなくなったのですが、その人たちが上流のほうに移動して、上流部分にブルーテントが増えました。むかしは丸子橋から富士山が見えたのですが、今はマンションが建って見えなくなってしまいました。ゴルフ場に来る人が河川敷の中に駐車場が出来ていて、止められないから脇に停めていると。先ほど話しに出た川の水が綺麗になったとも思います。この部分が一番変わったと思います。
- 私は10年前と今回と調査した場所が違うので一概に言えないんですけど、ゴミが減りました。昔は空き缶のゴミがたくさんあったのですが、ほとんどなくなってペットボトルになったように感じました。ジョギングやサイクリングの人が増えています。スポーツする人が増えました。

- 家族で歩いている方が増えて、ベビーカーを押している人や親子なども増えました。
- 第1回は1月だったので寒かったのですが、今回は暖かくなってもっと人が増えてくると思います。
- 私は10年前の調査は下流の方だったから、サイクリングの利用はなくて、今回は上流のほうに来て5分の間にカウントしていると、良い自転車で、どんどんスピード出して走っているのを確認しました。

(司会)外国人の方も時々いるんですね。横田基地の人でしょうか。サイクリングする人の年齢層が広がりましたよね。他に何か昔と変わったことはありますか？

- 私の調査地点には高圧線があるんですけど、カワウがいつもいます。自転車やバイクなどが捨ててありました。
- タンポポの花が秋に咲くんですね、あの頃はセイヨウタンポポとカントウタンポポと一緒に群生しないんですね。

(司会)植物について詳しい方の意見は？

- 関係者にタンポポを専門にやっている人がいまして、最近はこの見分けがつかなくて、DNA分析をしないと違いがわからなくて見分けはつかないですね。
- カントウタンポポの群落と、セイヨウタンポポの群落が一緒になったのでしょうか。右岸の下流は等々力緑地の水辺の学校があって、あの辺は全部カントウタンポポですよ。根の所の群落の部分できい物質を出して、自家中毒を起こしていて、花が咲かなくなって、植物の知恵というか勢力を、種を保存するものが、凄いものがありますけど、それは別にタンポポだけではなくて、今は魚の世界もそうですよ。人間もそうかもしれません。
- ヨシが多くて・・・今はそれに変わるような雑草がいっぱい茂っていて、ヨシという水辺の湿地帯に生えものだとおもうのですが。昔は下流に湧き水が出ていて、それを飲んだ経験があります。上に堰があるもんですから。14～17kmの調査をした時に、多摩川に渡し船があったんですね。ゴルフ場に行く人のためのものです。その人の話しによると、ゴルフ場に行く人はそれがないと、かなり周り道をしていかないといけないらしいです。

- 今は一般の人の渡しはないですが、ゴルフ場に行く為の渡しがあります。

(司会)二子玉川に、土日に1度だけ、自転車のための渡しがあったんですね。

- それもうないですね。もし、それがあるとすると、競輪場に行くための渡しかとおもいます。昔は丸子橋の下で日本ハムの球団が、雨が降った時は練習をしていたらしいです。



(司会)週末の土日だけやっていた渡しを取材したことがあります。

- それは榎本さんという方が昔やっていました。昭和34～35年ごろまでですが、「おーい」と頼めばやってくれました。

(司会)調布の取水堰が取水中止になったのが昭和45年です。今は工業用水しか取っていませんが、当時、あの辺はもう洗剤の泡で処理できなかった。あとはいかがですか？一番、多摩川の昔の姿で驚いたこととか感動したことなんかあれば、一言ずつお願いします。

- 子どもの時、夏になると水泳場になるので、多摩川で泳ぎを覚えたんですね。おそらく年寄りの連中は多摩川で泳ぎを覚えたと思います。そして夏、水難事故が起きていて、何人かが溺れて死ぬんですよ。何故なら砂利を盛んに採掘して、鉄道線路や鉄筋コンクリートに使って、横浜や、東京の震災後の復興は多摩川砂利のおかげなんですけど、その掘穴が川底にあちらこちらにあって、深いところは水が冷たいんです。そこへはまると足が痙攣して、よく足が引っぱりこまれるというけれど、あれは痙攣するんですね。それで死ぬ人がいるんです。だけどそういうことが起きてても毎年水泳場は盛んだったです。高度成長期に汚くなっちゃって、泳ぐどころか近づけなくなって、それが色んな努力で、昔のように多摩川が戻ってきた。散歩する人が非常に増えてきた。遊歩道が出来てきて、たいへん良い散策路になったし、そういう住民の人達がクリーンアップ作戦してゴミを拾ったりして、皆多摩川が好きで、綺麗にできたんです。今多摩川は良い環境になってきた。桜があちこちに植えられてやっぱり素晴らしい川だった。佐藤惣之助が釣りしていたり、柳田国男が散歩して書いてるんですね。文士達の東京近郊の名所

地だった。そういう多摩川を今後も名所にしていきたい。そのためには渡し船だとか 皆から愛される、そういう多摩川にしていけたらいいなと思っています。

- 以前は横浜に住んでいましたから、多摩川で泳いだりしたことはないんですけど、子どもの頃、二子玉川園に遊園地があって、この辺では一番大きな遊園地でした。それから花月園が鶴見にあって、京浜急行でいくと、とても良い遊園地でした。子供のころに連れてってもらいました。川崎大師に行った時は、昔の大師の電車に乗って、おやじの仲間たちがお花見をして、渡し船ではお団子を食べて、桜がいっぱい咲いている大師線が走っているのを覚えています。私が子どもの頃に川崎のほうにチンチン電車があって桜並木を走っていました。帰りに渡し船に乗ったかなんかで、東京へ言ってお稲荷さんを回って帰ってきたのを覚えています。

(司会)今の話は昭和か大正でいうと何年ぐらいですか？

- 昭和2~3年でしょうね。つい最近聞いたことを一つだけ。渡しのとこで、川崎側の土手の裏側の家を訪ねた時に、おばあさんがいて話を聞いていたら。東京のほうから船に乗って嫁にきたと。まだ生きていれば、90いくつぐらいですかね。

(司会)先程の質問で二子玉川に水泳場があったのはいつ頃の話ですか？

- 戦時中か戦後までですね。

(司会)昭和の初期に作った地図で、東京のレクリエーションマップがあって、多摩川に色々な名所があって、水泳場がいくつかある。やぐらを作って、監視人がいて、皆が泳いでいたようです。

- 私は川崎大師のところで、多摩川のところに用水が多摩川とつながっていて、魚釣りかなんかやるときにゴカイを取って釣りに使っていました。最近ではハゼが多摩川にいらなくなりました。
- 昔は缶を巢にしている。それがなくなって、減っていったとききます。水泳についてですが、中学の時に水泳部にいたもんですから、多摩川に人が溺れたってという探しに行くんですよ。重りをつけて深いところに探しに行くんですよ。もうそういう時には亡くなってますよね。そんなこともよくあって羽田とか、大師とかあのあたりで。それを水泳の練習所と言ってました。
- 多摩川の岸辺のところで、シジミが取れる。ホントはとっちゃいけないんだけど、観察用だと言って取って、味噌汁にして食うんだよね。

(司会)昭島市の永井さん、何かお話ありますか。

- 私は20年住んで、昭島辺りも変わったみたいですね。立川と昭島の100年間の写真記録集がありまして、昔のそれを見ていると、多摩川は砂利の山だったんです。例えば東海道線の大井川あたりと、今でも砂利が川にいっぱいみえますけど、ちょうどそんな光景の川だったんですけど、ここ100年で取り尽くされて、泥みみたいな泥岩みみたいな川底になってしまった。ところが最近異変というか、43km地点のすぐ近くに住んでいるのですが、散歩でたまたま川に出たところ、多摩大橋の付近で、砂利がずいぶん堆積して、本流を蛇行させていく形で、砂利が堆積してきているんですね。私の大よその計算でも、ダンブで数千台分の砂利が、この3~4年の間、このあと川がどういふふうに変っていくのか考えます。ニセアカシアが枯れて倒れて、倒木になって、立川あたりまでずっと続いているんですね。砂利がどっからくるのか、永田橋ですか、どっかの大学の先生が、砂利を実験的に流しているって聞んですけど、とても実験的に流すような砂利の量じゃないんですよ。一方で、河畔林で堆積した砂利が洗い流されていったって人もいますんですけど。真相はよく分からないんですが、現象として砂利が堆積していつているというのを最近感じています。
- 1つは昔の玉川園っていうのは東京の人達が遠足に遊びに行くのは玉川園。堤防がなかったから川に遊びにいけたんですよ。あの堤防ができたのは大正7年から作り始めて昭和8年ぐらいにできて、それまでは多摩川園に遊んで、多摩川に出て遊ぶのが定番になっていました。砂利の話は立川の社会科の教科書に、立川の生産物として砂利があるんですよ。川崎だけかもしれないですが、多摩川にこんな良いフィールドがあるのに、川崎の小学生は多摩川で遊んではいけないというんですよ。今、多摩川は綺麗になっているけれど、安心安全ではないんですよ。それが早く、子どもたちが自由に遊んでいけたらいいなと、そういう運動があってもいいと思うんですよ。行くんだったら大人を連れていったり子供たち大勢でいけと。そんなことも直せばいいと思います。今の水泳場の話、東横線が昭和の始めに出来た時に、何円、何銭、だったんですよ。丸子橋の下が納涼海水浴場で地図にのっています。今の子供たちに君たちのお父さんのお父さんたちはここで泳いでいたと教えている。綺麗にはなっているんですが、窒素、リンですか、それがどうしても抜けきれないというので一応は入っちゃいけない。水辺の楽校は水を飲むわけじゃないんですね。水を利用して遊んでいるからいいかもしれません。
- 先程の土木系の方が実験をしているという話を聞いています。あるところに砂利を持ってきて、それが流れているという話を聞いています。

## 2. 一斉調査の実施と結果

### (1) 多摩川でのヒトの利用実態調査

#### 1) 調査の前提条件

- ・ 事前に登録した調査員を多摩川左右岸に配置し、予め決められた日時をもって一斉に調査を行った。
- ・ 2~3人を1グループとし、各グループ2~3kmを担当した。(左岸23グループ、右岸20グループで実施。)
- ・ 調査区間は、多摩川本川直轄区間(国が直接管理する区間・河口(0km)~青梅市青梅万年橋(62.5km))とし、支川等で住民から要請のあった場合は、同様調査を行うこととし、今回は、山梨県小菅村管内の小菅川を第2回(4月)のみ調査した。
- ・ 年4回の調査のうち、各回同時に特別調査1件を行い、その成果を整理した。
- ・ ヒトの利用実態調査は、2000年時の項目のうち、堤上を走る自転車のトラブルが多いことから、『自転車』の項を、a)ロード、マウンテン等の高速スポーツタイプ、b)家庭用タイプ、c)車イスに分けた。また『水遊び』については、a)水辺や水中で遊ぶ人、b)カヌー、ボート、サーフィン等エンジンなしの水面レジャーに分けた。
- ・ 前回の『住人』は、『ホームレスハウスや小屋』として改称し、調査した。調査は、ホームレス等とのトラブルを避けるため、堤上からの観察を原則とした。
- ・ 調査員は、毎調査時に事務局が配布したバッジをつけ、グループが集合するときの目安とした。また、調査時に質問された場合には、調査主旨等を説明することとした。

#### 2) 調査の手順

- ・ 調査は、指定された日時に、グループごとに指定された左・右岸の堤上にあるキロ杭(河口から0km)に集合し、[資料-⑩](#)に示すような手順で行った。
- ・ 調査の成果は、各回終了後、調査票、画像データ等を郵送、ファクシミリ、電子メール等で回収した。
- ・ 各グループの中から、当日参加不能者が出た場合は、原則的に追加なしで少人数で実施していただいたが、事前の参加不能の告知があった場合、グループ内で呼びかけ、一時的に人数を増やして調整したり、調査員が全くいない場合は、事務局及び余裕のあるグループから派遣し、人数調整を行った。また、当日、急に全員不参加の事態となった区間は、集計表に欠測と表示した。初回調査時に1kmごとの調査ではなく、2~3km通しで調査した区間は、集計表に別表示をした。

#### 3) 調査結果のとりまとめ

- ・ 調査終了後、事務局にて回収した調査票及び画像データのとりまとめを行った。
- ・ ヒトの利用実態調査(カウント調査)の結果は、調査回ごとに左・右岸別に集計し、一覧にまとめた。[資料-⑫](#), P26~33)
- ・ 4回の調査の全一覧は、全体集会(報告会)時における参加調査員からの要望により、10年前の西暦2000年の調査結果と比較できるよう1頁に表示した。  
[資料-⑬](#), [資料-⑭](#), P34)











第3回調査(2010/7/25)左岸

Table with columns: No., 河口から(km), 調査時間, 散策, 自然観察, 自転車a, 自転車b, 自転車c, 釣り, 水遊a, 水遊b, 野外料理, 野球, サッカー, ジョギング, ゴルフ, その他S, モトクロス, ラジコ, 船舶, 船舶b, ゲーム, Hレス, バイク, 車(内), 車(外), その他, 特別調査, 調査員. Rows 1-62 with a final '合計' row.







資料 - ⑬

●西暦2010年の多摩川を記録する運動 利用実態調査(第1回～第4回)結果

| 調査時間                   | 散策   | 自然観察 | 自転車a | 自転車b | 自転車c | 釣り  | 水遊a | 水遊b | 野外料理 | 野球   | サッカー | シキョウ | ゴルフ  | その他S | モトクロス | テニスコ | 船舶a | 船舶b | ゲーム | Hレス | バイク | その他 | 小計   | 車(内)  | 車(外) |      |
|------------------------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|------|------|
| 第1回カウント調査(2010年1月24日)  |      |      |      |      |      |     |     |     |      |      |      |      |      |      |       |      |     |     |     |     |     |     |      |       |      |      |
| 左岸                     | 2775 | 93   | 924  | 542  | 42   | 224 | 52  | 224 | 0    | 100  | 3003 | 1799 | 1691 | 231  | 356   | 36   | 40  | 7   | 95  | 3   | 309 | 11  | 244  | 12577 | 681  | 201  |
| 右岸                     | 1434 | 263  | 251  | 541  | 3    | 96  | 22  | 96  | 6    | 55   | 2227 | 691  | 923  | 385  | 420   | 8    | 51  | 32  | 25  | 86  | 319 | 53  | 90   | 7981  | 511  | 135  |
| 第2回合計                  | 4209 | 356  | 1175 | 1083 | 45   | 320 | 74  | 320 | 6    | 155  | 5230 | 2490 | 2614 | 616  | 776   | 44   | 91  | 39  | 120 | 89  | 628 | 64  | 334  | 20558 | 1192 | 336  |
| 第2回カウント調査(2010年4月25日)  |      |      |      |      |      |     |     |     |      |      |      |      |      |      |       |      |     |     |     |     |     |     |      |       |      |      |
| 左岸                     | 2928 | 239  | 1078 | 653  | 12   | 339 | 257 | 339 | 5    | 386  | 6510 | 1789 | 1262 | 148  | 445   | 22   | 39  | 54  | 42  | 68  | 271 | 136 | 6703 | 23376 | 1438 | 225  |
| 右岸                     | 2001 | 150  | 456  | 951  | 37   | 187 | 136 | 187 | 10   | 535  | 1804 | 1654 | 1155 | 558  | 521   | 41   | 67  | 16  | 0   | 140 | 274 | 131 | 342  | 11166 | 1321 | 393  |
| 第3回合計                  | 4929 | 389  | 1534 | 1604 | 49   | 526 | 393 | 526 | 15   | 921  | 8314 | 3443 | 2407 | 706  | 966   | 63   | 106 | 70  | 42  | 208 | 545 | 267 | 7045 | 34542 | 2759 | 618  |
| 第3回カウント調査(2010年7月25日)  |      |      |      |      |      |     |     |     |      |      |      |      |      |      |       |      |     |     |     |     |     |     |      |       |      |      |
| 左岸                     | 1020 | 97   | 683  | 376  | 9    | 288 | 280 | 288 | 3    | 619  | 4710 | 1451 | 476  | 137  | 355   | 17   | 8   | 89  | 2   | 0   | 139 | 29  | 196  | 10984 | 1565 | 269  |
| 右岸                     | 930  | 118  | 330  | 805  | 7    | 149 | 242 | 149 | 4    | 1030 | 2380 | 974  | 303  | 550  | 383   | 38   | 31  | 3   | 0   | 7   | 171 | 27  | 128  | 8610  | 1101 | 76   |
| 第4回合計                  | 1950 | 215  | 1013 | 1181 | 16   | 437 | 522 | 522 | 7    | 1649 | 7090 | 2425 | 779  | 687  | 738   | 55   | 39  | 92  | 2   | 7   | 310 | 56  | 324  | 19594 | 2666 | 345  |
| 第4回カウント調査(2010年10月24日) |      |      |      |      |      |     |     |     |      |      |      |      |      |      |       |      |     |     |     |     |     |     |      |       |      |      |
| 左岸                     | 1788 | 137  | 832  | 867  | 6    | 309 | 51  | 309 | 12   | 610  | 5851 | 2117 | 1126 | 180  | 1082  | 62   | 9   | 70  | 69  | 2   | 136 | 49  | 210  | 15575 | 599  | 1738 |
| 右岸                     | 1105 | 89   | 240  | 473  | 7    | 194 | 49  | 194 | 10   | 674  | 2921 | 1316 | 1174 | 842  | 304   | 34   | 37  | 10  | 4   | 88  | 183 | 56  | 116  | 9926  | 93   | 1291 |
| 第4回合計                  | 2893 | 226  | 1072 | 1340 | 13   | 503 | 100 | 503 | 22   | 1284 | 8772 | 3433 | 2300 | 1022 | 1386  | 96   | 46  | 80  | 73  | 90  | 319 | 105 | 326  | 25501 | 692  | 3029 |

(注1) 自転車の区分… a: スピード走行タイプの自転車(ロードレーサー、マウンテンバイク等装着) b: 家庭用タイプの自転車(荷台がついた買い物用、子ども用等) c: 車イス及び付添人  
 (注2) 水遊の区分… a: 水の中で遊んだり、水辺の近くにいる人 b: カヌー、ウインドサーフィンなどの用具を使って遊んでいる人  
 (注3) 船舶の区分… a: 移動中の船舶(漁船、プレジャーボート、ジェットスキー等の動力船の数) b: 係留中の船舶(不法係留を含む人が乗船していないような船の数)  
 (注4) 車の区分… (内): 河川敷内の自動車で、駐車場内の駐車台数 (外): 駐車場外の駐車台数

資料 - ⑭

●西暦2000年の多摩川を記録する運動 利用実態調査(第1回～第5回)結果

| 調査時間                 | 散策   | 自然観察 | 自転車  | 釣り   | 水遊   | 野外料理 | 野球   | サッカー | シキョウ | ゴルフ | その他S | モトクロス | テニスコ | 船舶  | ゲーム | Hレス | バイク   | その他   | 小計    | 車(内) | 車(外) |      |  |  |
|----------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-------|------|-----|-----|-----|-------|-------|-------|------|------|------|--|--|
| 第1回一斉調査(2000年1月23日)  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |       |      |     |     |     |       |       |       |      |      |      |  |  |
| 左岸                   | 2476 | 70   | 1727 | 369  | 24   | 199  | 2063 | 971  | 689  | 190 | 358  | 16    | 40   | 42  | 17  | 245 | 699   | 699   | 10195 | 635  | 234  | 330  |  |  |
| 右岸                   | 1213 | 153  | 861  | 186  | 23   | 59   | 577  | 395  | 577  | 552 | 324  | 77    | 96   | 100 | 33  | 214 | 22    | 22    | 5462  | 626  | 327  | 310  |  |  |
| 第2回合計                | 3689 | 223  | 2588 | 555  | 47   | 258  | 2640 | 1366 | 1266 | 742 | 682  | 93    | 136  | 142 | 50  | 459 | 721   | 721   | 15657 | 1261 | 561  | 640  |  |  |
| 第2回一斉調査(2000年4月23日)  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |       |      |     |     |     |       |       |       |      |      |      |  |  |
| 左岸                   | 3480 | 218  | 2213 | 471  | 261  | 1382 | 5458 | 1403 | 470  | 110 | 722  | 7     | 4    | 49  | 0   | 306 | 7075  | 7075  | 23629 | 1598 | 248  | 147  |  |  |
| 右岸                   | 1387 | 221  | 1168 | 376  | 42   | 588  | 2896 | 798  | 372  | 488 | 674  | 38    | 72   | 92  | 99  | 216 | 86    | 86    | 9613  | 1213 | 478  | 83   |  |  |
| 第3回合計                | 4867 | 439  | 3381 | 847  | 303  | 1970 | 8354 | 2201 | 842  | 598 | 1396 | 45    | 76   | 141 | 99  | 522 | 7161  | 7161  | 33242 | 2811 | 726  | 230  |  |  |
| 第3回一斉調査(2000年7月23日)  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |       |      |     |     |     |       |       |       |      |      |      |  |  |
| 左岸                   | 1860 | 87   | 2058 | 507  | 716  | 969  | 4442 | 941  | 244  | 92  | 1554 | 0     | 6    | 36  | 2   | 233 | 25067 | 25067 | 38814 | 1665 | 262  | 170  |  |  |
| 右岸                   | 1123 | 50   | 1455 | 318  | 1479 | 392  | 2669 | 416  | 239  | 340 | 297  | 4     | 38   | 139 | 57  | 166 | 81    | 81    | 9263  | 1218 | 201  | 156  |  |  |
| 第4回合計                | 2983 | 137  | 3513 | 825  | 2195 | 1361 | 7111 | 1357 | 483  | 432 | 1851 | 4     | 44   | 175 | 59  | 399 | 25148 | 25148 | 48077 | 2883 | 463  | 326  |  |  |
| 第4回一斉調査(2000年10月22日) |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |       |      |     |     |     |       |       |       |      |      |      |  |  |
| 左岸                   | 2757 | 200  | 2385 | 779  | 54   | 2155 | 6294 | 1874 | 586  | 153 | 1159 | 0     | 17   | 21  | 28  | 217 | 374   | 374   | 19053 | 1365 | 702  | 1076 |  |  |
| 右岸                   | 1473 | 229  | 2486 | 449  | 109  | 898  | 2230 | 719  | 984  | 481 | 589  | 3     | 43   | 78  | 36  | 197 | 235   | 235   | 11219 | 1247 | 785  | 680  |  |  |
| 第5回合計                | 4230 | 429  | 4871 | 1228 | 163  | 3053 | 8524 | 2593 | 1570 | 634 | 1728 | 3     | 60   | 99  | 64  | 414 | 609   | 609   | 30272 | 2612 | 1487 | 1756 |  |  |
| 第5回一斉調査(2001年1月28日)  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |       |      |     |     |     |       |       |       |      |      |      |  |  |
| 左岸                   | 961  | 85   | 233  | 81   | 62   | 15   | 96   | 8    | 113  | 43  | 270  | 5     | 7    | 19  | 4   | 265 | 676   | 676   | 2943  | 66   | 41   | 282  |  |  |
| 右岸                   | 521  | 80   | 111  | 48   | 37   | 2    | 100  | 41   | 60   | 40  | 21   | 2     | 22   | 101 | 34  | 234 | 413   | 413   | 1867  | 131  | 71   | 192  |  |  |
| 第5回合計                | 1482 | 165  | 344  | 129  | 99   | 17   | 196  | 49   | 173  | 83  | 291  | 7     | 29   | 120 | 38  | 499 | 1089  | 1089  | 4810  | 197  | 112  | 474  |  |  |

※第3回左岸 その他は、イカダレース、主催者発表25,000人

(注) 西暦2000年の多摩川を記録する運動 活動報告書 頁101 「利用実態調査種別集計表」 正誤 (誤) 第3回一斉調査左岸小計 13814 (正) 第3回一斉調査左岸小計 38814

4) その他の利用

調査票に表示されている項目以外の利用については、**その他**の欄に記入していただいた。その他の利用は、**その他のスポーツ**と**その他**に区分した。以下に一覧を示す。

①その他のスポーツ

|         | 左 岸                                                               | 右 岸                                                  |
|---------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 第 1 回調査 | ローラースケート、スケートボード、ゲートボール、テニス、縄跳び、バドミントン、フリスビー、キャッチボール、体操、インラインスケート | フリスビー、テニス、ラクロス、フットサル、縄跳び、ドッチボール、水上スキー                |
| 第 2 回調査 | バドミントン、ローラースケート、テニス、ゲートボール、キャッチボール、バドミントン、グランドゴルフ、ウォーキング、ハードル練習   | ウォーキング、テニス、ゲートボール、ラクロス、トレーニング、ローラースケート、スケートボード、バスケット |
| 第 3 回調査 | ローラースケート、ゲートボール、テニス、フットサル                                         | ドッチボール、ラクロス、アメフト、ラクロス、テニス、ローラースケート、バスケット、バネットゴルフ     |
| 第 4 回調査 | ローラースケート、バドミントン、テニス、ゲートボール、アメフト、壁打ちテニス、カヌー、ソフトボール、マラソン練習、陸上競技     | テニス、アメフト、ボール蹴り、ラクロス、バドミントン、ホッケー、クリケット                |

②その他の利用

|         | 左 岸                                                                                                                              | 右 岸                                                                                                        |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 回調査 | 草スキー、公園遊び、ボーイスカウト活動、凧揚げ、清掃、楽器の演奏、パトロール、工事                                                                                        | 楽器演奏、神社参拝、猫に餌、石拾い、ピクニック、警察権の訓練、イモ掘り、バードウォッチング、護岸工事、河川パトロール、凧揚げ、草すべり、畑仕事、イベント(多摩市主催の歩こう会)、竹伐り、犬の飼い主の集まり、薪拾い |
| 第 2 回調査 | 潮干狩り、畑作業、フリスビー、花壇づくり、草すべり、工事、子どもガーデンパーティ、スケッチ、ペット集会、公園遊具、日光浴、写真撮影、けんかゴマ、フラダンス、段ボール遊び、イベント、摘み草、紙飛行機、スクーター、ゴミ拾い、一輪車練習、竹取り、昆虫採集、凧揚げ | シジミ採り、楽器練習、草すべり、ゴミ拾い、投げ輪、畑作業、昼寝、テニスコート整備、ボーイスカウト活動、巡回、化石探し、タケノコ採り、伐採、魚の魚卵場づくり                              |
| 第 3 回調査 | 潮干狩り、ゴミ拾い、祭りの練習、楽器演奏、デイキャンプ、日光浴、花火大会片づけ、草刈り                                                                                      | 潮干狩り、シジミ採り、マラソンイベント片づけ、休憩、ボール遊び、フリスビー、金網・支柱のペンキ塗り、農作業、ゴミ収集、楽器の練習、電車の写真撮影、河川パトロール                           |
| 第 4 回調査 | 潮干狩り、政治集会、消防訓練、公園遊び、イベント、歌の練習、犬の散歩、ボール蹴り、犬猫里親探し、音楽練習、ままごと、ゴミ拾い、クルマ拾い、除草作業、警察官パトロール                                               | 犬の散歩、楽器練習、親子遊び、円盤とばし、イベント、河原遊び、農作業、スケッチ、鉄道写真撮影、クズの根掘り、クルマ拾い                                                |

## (2) 特別調査

年4回の多摩川でのヒトの利用実態一斉調査日にあわせ、各回、特別調査を下記のように実施した。この特別調査は、2000年時の特別調査（カワウ調査、タンポポ分布調査、粗大ゴミ調査）において、カワウは両岸から調査するため実数把握が難しいことや遠望による同定が知識のない人には困難である。タンポポは、カントウタンポポ（在来種）の分布を知ることにあつたが、セイヨウタンポポ（外来種）との交雑が多く、見分けが難しい。粗大ゴミは、どこまでを粗大とするか等、課題、反省が多く出たため継承せず、新たな項目を設定した。

|         | 内 容                     |
|---------|-------------------------|
| 第1回特別調査 | 堤防上から富士山が見える所の調査        |
| 第2回特別調査 | 調査区間(1km)に見られる花の咲いている植物 |
| 第3回特別調査 | 水面で遊ぶカヌー、ボートの数          |
| 第4回特別調査 | 堤防沿いに建つ5階以上の建物の調査       |

### 1) 堤防上から富士山が見える所の調査（第1回：2010年1月24日に同時調査）

①この調査は、多摩川沿川の各地に富士見町、富士見坂、富士塚等の地名や文化財があるように、多摩川と富士山は、江戸、東京の行楽の名所であったことから設定した。今日、河川やまちづくりの中で、景観が課題になっている折、多摩川沿いの構想ビル、マンションによる眺望や景観が阻害されているとの指摘がなされるようになったこともあり実施した。第4回時に行った左右岸に沿って建つ5階以上の建物の位置とあわせて、提出された調査結果をもとに、事務局で地形図（国土地理院発行、1/25,000）にその結果を図示した。（資料-⑮、P38-47）

②ヒトの利用実態調査と兼ねて調査区域を移動しながら、配布した地図上に見える場所を記入した。

③富士山は、冬季晴天時に遠望がきくことから、中～長期の気象予報を参考に設定した結果、調査日は晴天で、条件は良好であった。

④調査結果の概要は、

- i) 左岸側は、0kmの羽田から昭島まで、ほぼ全区間で眺望が可能であった。
- ii) 反面、右岸側は、多摩丘陵や建物による見通しがきかないことから、ほぼ全域見えない。一部、建物の間や低い建物越しに見えるところがあった。

### 2) 調査区間に見られる花の咲いている植物（第2回：2010年4月25日に同時調査）

①この調査は、春季に開花する目立つ花を写真におさめ、集計することとした。近年、多摩川は、植物のみならず野鳥、魚類等、多くの生きものが外来種によるとされている。このことから、1kmごとに目立つ開花植物を5点ほど写真におさめ、事務局で同定することとした。この同定にあたっては、明治大学農学部倉本研究室に同定と集計をお願いした。（資料-⑯、P48～49参照）

事務局からの提案として、誰かが花壇に植えたような園芸種や独立して咲いている花でなく、まとまって咲いている野生の花、木本を対象として調査をお願いした。

なお、同定にあたっては、調査員から送られた画像によるものであることから、調査地に分布するもの花の咲いている全ての植物を判別するには限界があった。特にカタバミ、ナノハナ、ギシギシ、タンポポにおける種の特定について、写真のみでの判別が難しいものについては、まとめて扱った。また、調査結果をもとに植物の研究者による「多摩川の花ベスト10」を選定した。その結果を、一覧（P58～59）に示す。

### 3) 水面で遊ぶカヌー・ボートの数 (第3回: 2010年7月25日に同時調査)

- ① 夏季の水遊びの一環として、近年多くなったカヌー、ゴムボート、ウィンドサーフィン等による川遊びが増え、釣り人とのトラブル等が起きていることから、調査票に記入する形式で調査を行った。
- ② 左右岸で同時調査することから、ダブルカウントをする恐れがあるため、左・右岸とも主流の中央部を左右岸の区分線として調査することとした。これは、一斉調査のヒトの利用実態調査の冬項目も原則同様とした。

#### < 第3回特別調査結果 >

|    |          |                    |
|----|----------|--------------------|
| 左岸 | 1~2km    | ボート: 2, ジェットスキー: 1 |
|    | 23~24 km | ボート: 1             |
| 右岸 | 確認なし     |                    |



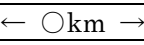
- ③ 調査実施が午前中の比較的早い時間帯であったことから、水面でカヌーやボートなどで遊ぶ利用が少なかったと考えられる。
- ④ 反面、河口域や下流の中州では、潮干狩りに出るヒトが多く確認された。

### 4) 堤防沿いに建つ5階以上の建物の調査 (第4回: 2010年10月24日に同時調査)

- ① 第1回特別調査、富士山が見える所と同様、地形図(1/1,000)を各グループの担当区域ごとに事前に配布し、調査時に記入したものを事務局で図示した。
- ② 多摩川沿いの高い建物は、沿川地区の再開発事業や新規開発により、より高層化が進み、景観上問題になるケースが多くなっている。この状況は、青梅市域にまで広がっていることから、まちづくりや景観形成の資料として提示できればと考え調査を実施した。
- ③ ここでいう5階建て以上の建物とは、マンション、工場、事業所等を示し、マンションの5階建ての高さ以上に相当する高さとした。また、堤防沿いとは、堤防に接した所とし、建物の間に空地がある場合は、おおよそ堤内地(まち側)50mぐらいの範囲に建つ建物として設定した。
- ④ 調査結果が不明確な地区については、2011年3月に事務局で再調査を行い、加削し、担当者に確認の上、結果とした。

なお、第1回特別調査と第4回特別調査の結果を次に示す。(資料-15), P38~47)

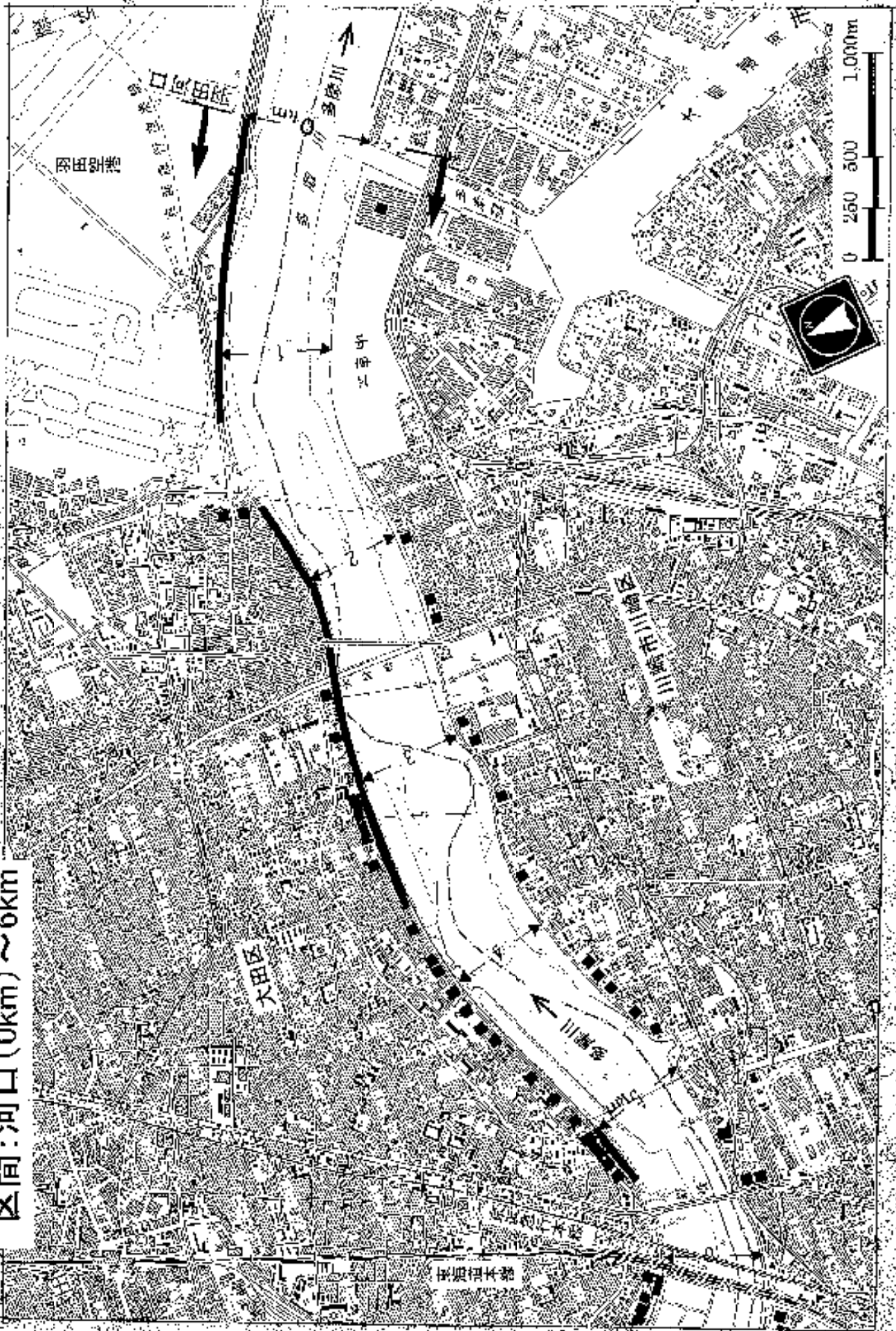
#### (注)

- ・地図上に示した  は、堤上から富士山が見える区域
- ・地図上に示した  は、5階以上の建物(第4回特別調査)
- ・地図上の  は、河川区域である河口0kmからの距離を、国土交通省京浜河川事務所提供の「多摩川改修平面図(平成20年度修正, 1/2,500縮小版)」から転記した。
- ・調査用図面は、国土地理院発行の1/10,000のコピー図面をグループの担当区域ごとに配布し、現地で記入してもらった。

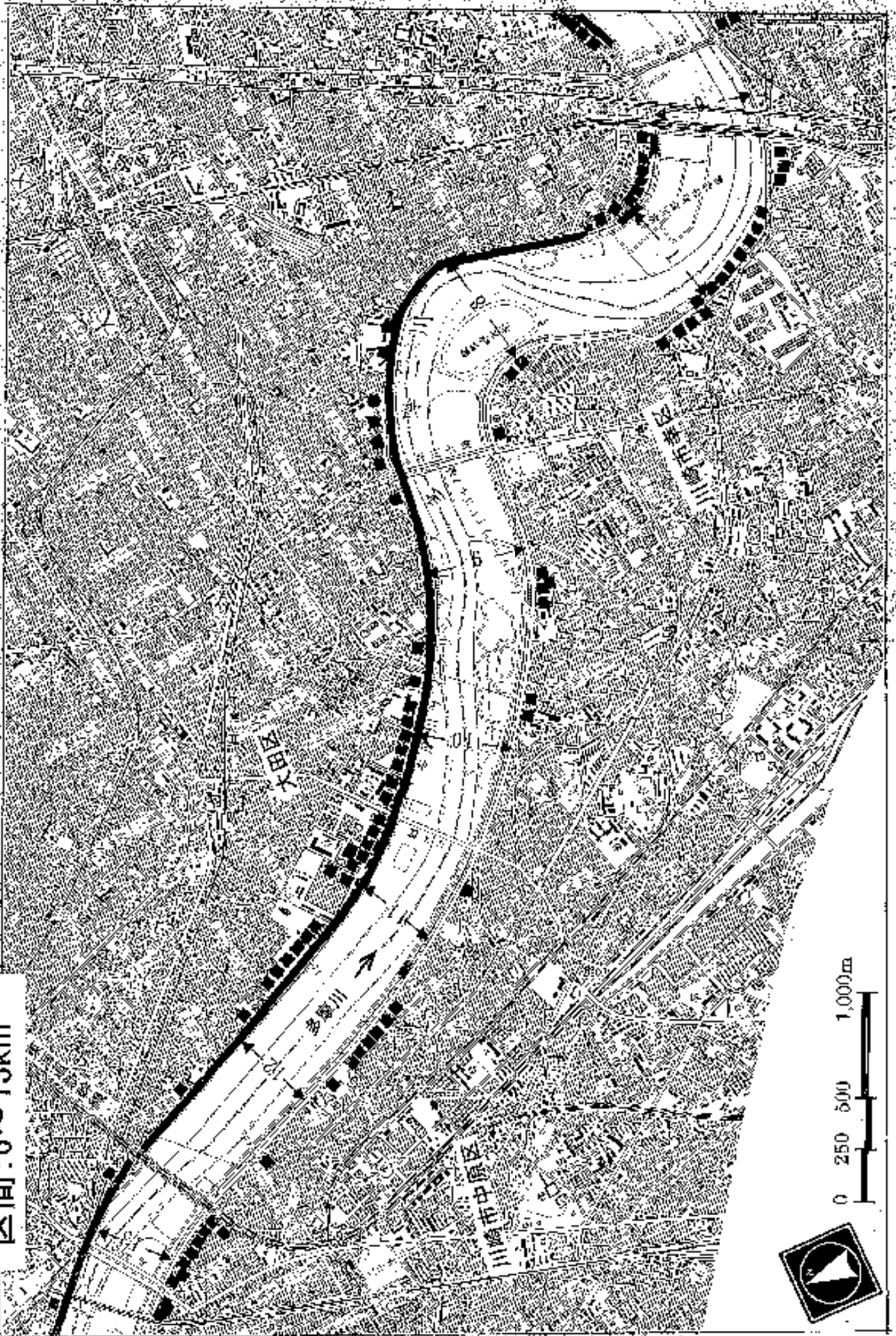


第1回、第4回特別調査結果（富士山の見える位置、5階建て以上の建物位置図）

区間：河口(0km)～6km

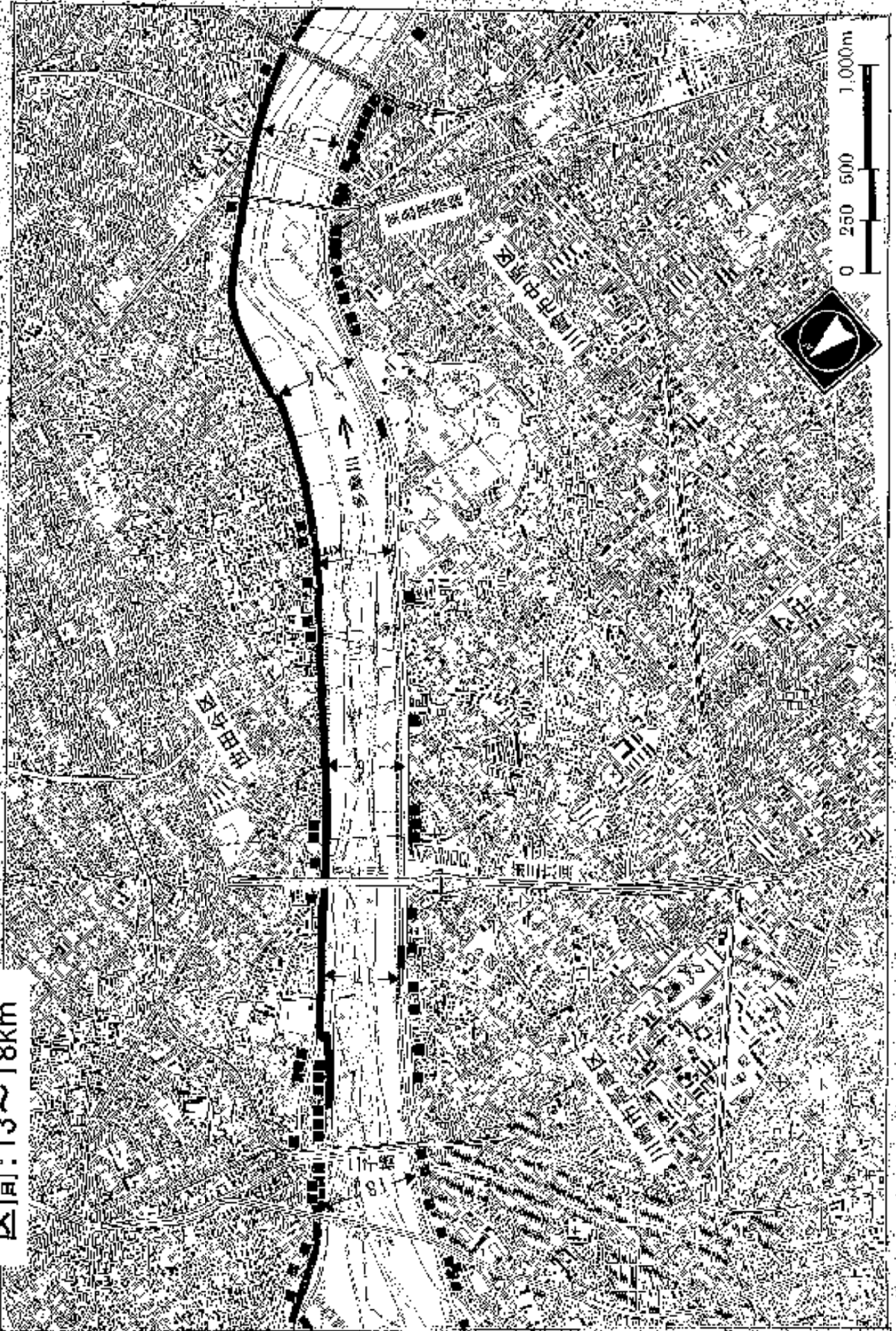


区間：6～13km





区間: 13~18km

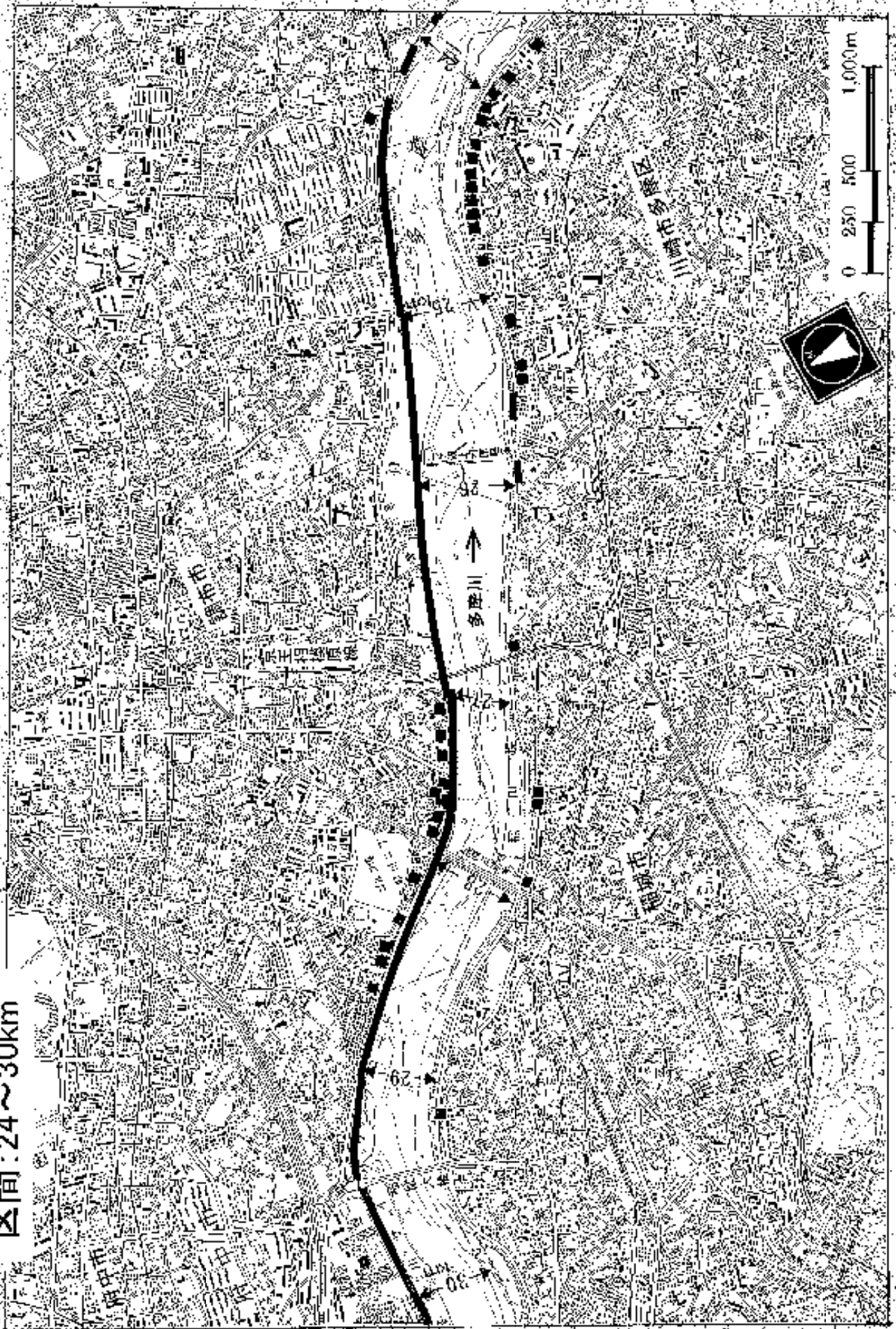


区間：18～24km

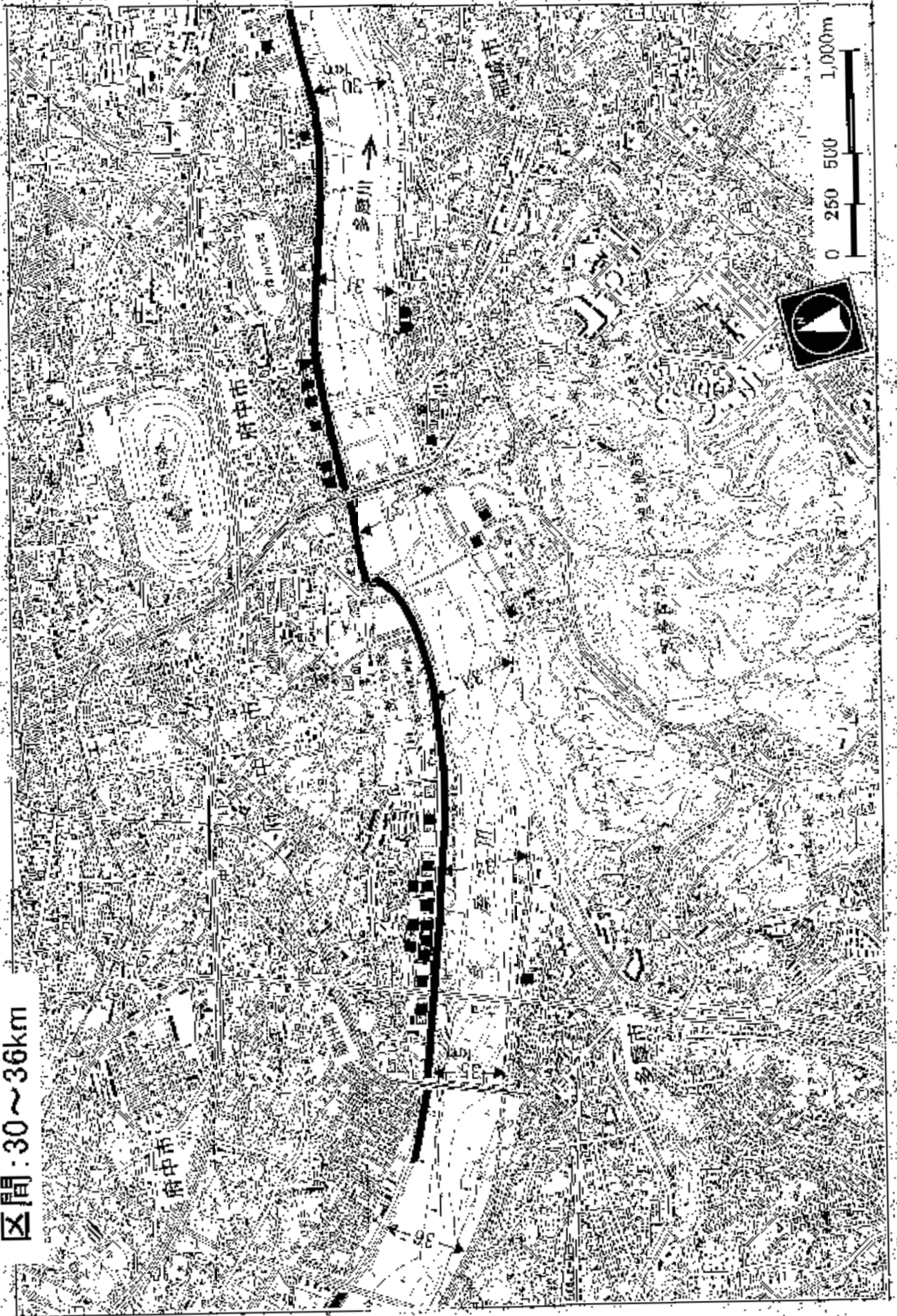




区間：24～30km

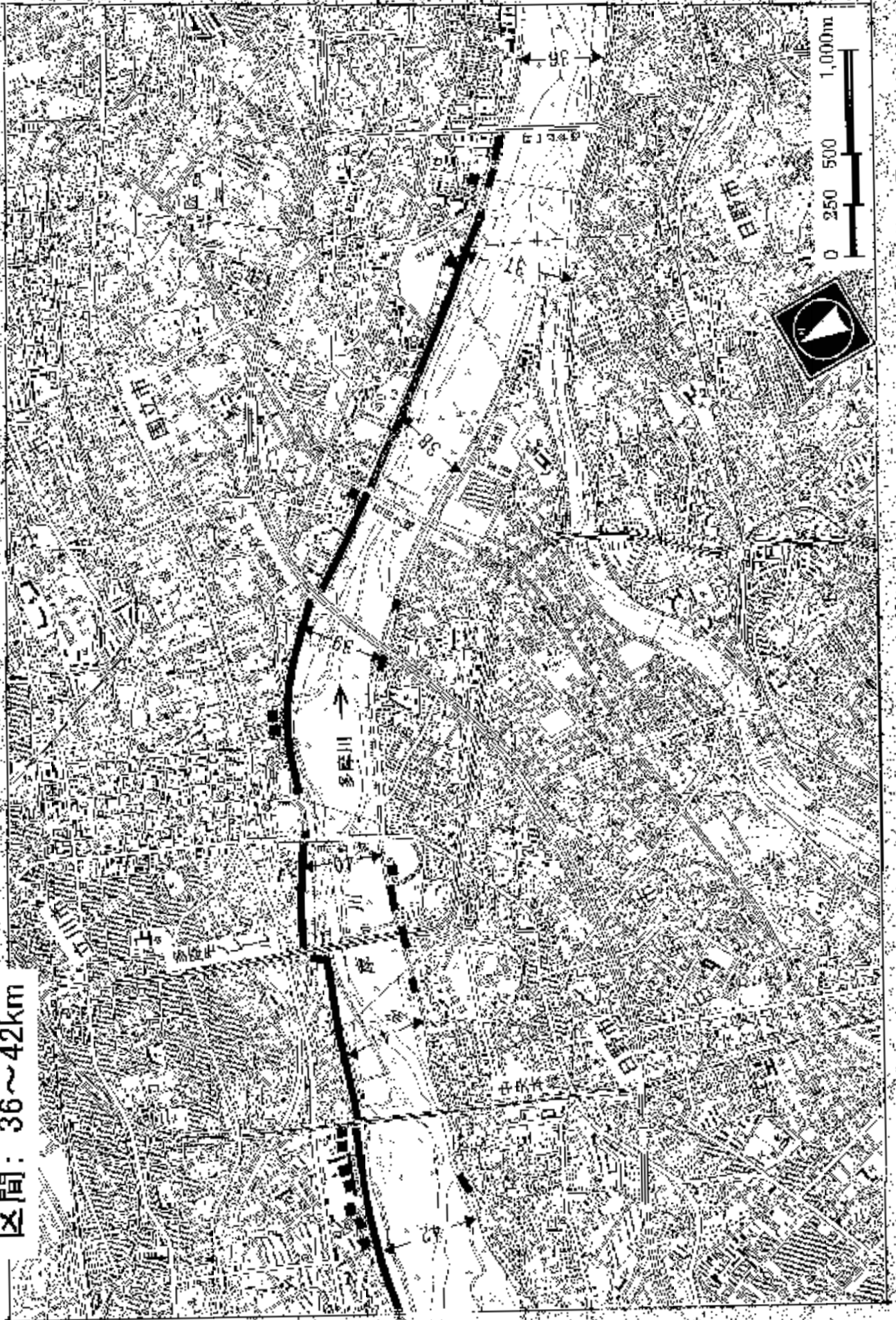


区間：30～36km





区間：36～42km

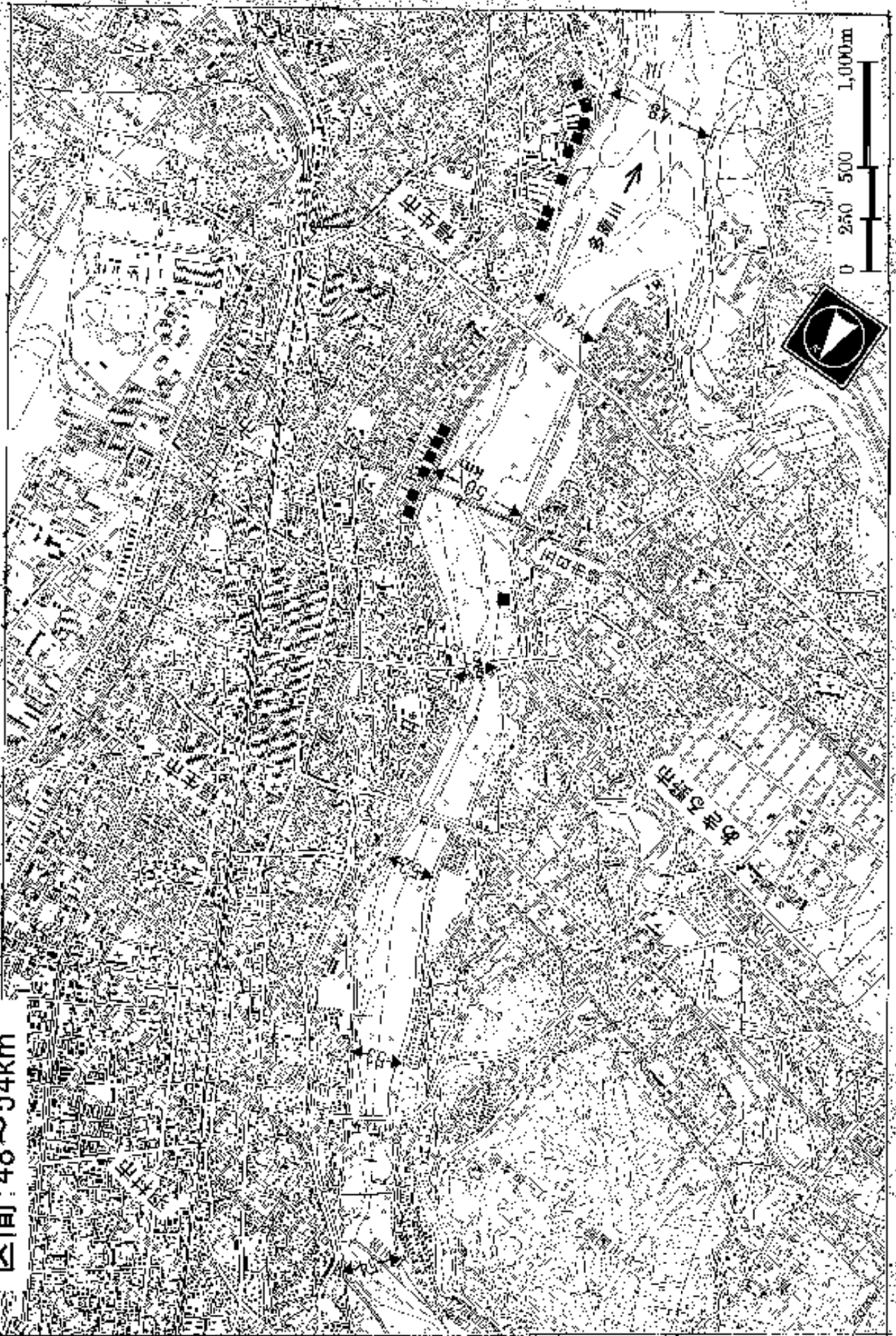


区間：42～48km





区間：48～54km



区間:54~万年橋(約61.8km)



| ～ 右 岸 ～                                                                                         |                                                             | ～ 左 岸 ～  |                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                 |                                                             | (単位: km) |                                                                                                                                         |
| オオイヌノフグリ, クサノオウ, クルメツツジ, シダレサクラ, セリハエンソウ, ニホンタンポポ, ノゲシ, ヒメオドリコソウ, ヘラオオハコ, ムラサキケマン, ヤマブキ(一重, 八重) |                                                             | 55-56    | ムラサキケマン, ヤエムグラ                                                                                                                          |
|                                                                                                 |                                                             | 54-55    | クサノオウ, クルメツツジ, シダレザクラ, セリハエンソウ                                                                                                          |
|                                                                                                 |                                                             | 53-54    | オオイヌノフグリ, カラスノエンドウ, ニホンタンポポ, ノゲシ, ヒメオドリコソウ, ヘラオオハコ, ヤマブキ(八重)                                                                            |
|                                                                                                 |                                                             | 52-53    | ヤマブキ(一重)                                                                                                                                |
|                                                                                                 |                                                             | 51-52    | なし                                                                                                                                      |
|                                                                                                 | オニグルミ, クサノオウ, タンポポ類, ハナダイコン                                 | 50-51    | タンポポ類                                                                                                                                   |
|                                                                                                 | なし                                                          | 49-50    | タンポポ類, ニホンタンポポ                                                                                                                          |
|                                                                                                 | ヒメオドリコソウ                                                    | 48-49    | シダレザクラ, ニホンタンポポ, ハナダイコン, ヤマブキ(一重)                                                                                                       |
|                                                                                                 | オオイヌノフグリ, カラスノエンドウ, スイバ, タンポポ類, ヒメオドリコソウ, ヘラオオハコ            | 47-48    | ウマノアシガタ, カラスノエンドウ                                                                                                                       |
|                                                                                                 |                                                             | 46-47    | カタバミ, カラスノエンドウ, ヒメオドリコソウ                                                                                                                |
|                                                                                                 |                                                             | 45-46    | タンポポ類                                                                                                                                   |
|                                                                                                 | ニホンタンポポ                                                     | 44-45    | ハナニラ                                                                                                                                    |
|                                                                                                 | カラスノエンドウ, シロツメクサ, スイバ                                       | 43-44    | オオイヌノフグリ, ニホンタンポポ, ヒメオドリコソウ                                                                                                             |
|                                                                                                 | ウマノアシガタ, オオイヌノフグリ, オランダミミナグサ, スイバ, ニホンタンポポ, ヒメオドリコソウ, ヤエムグラ | 42-43    | オニノゲシ, カタバミ, カラスノエンドウ, シロツメクサ, タンポポ類, ハルジオン,                                                                                            |
|                                                                                                 | オニグルミ, スイバ, スズメノエンドウ, タチイヌノフグリ, ニホンタンポポ, ノジヤ, ノミノツツリ        | 41-42    | ヒメオドリコソウ, ホトケノザ, ヤブタバコ                                                                                                                  |
|                                                                                                 | オオイヌノフグリ, ナノハナ, ニホンタンポポ, ヒメオドリコソウ                           | 40-41    | タンポポ類, ナノハナ                                                                                                                             |
|                                                                                                 | カラスノエンドウ, シロツメクサ, タチイヌノフグリ                                  | 39-40    |                                                                                                                                         |
|                                                                                                 | ナノハナ, ヤエムグラ                                                 | 38-39    | ウマノアシガタ, コウゾリナ, シロツメクサ, ナノハナ, ノジヤ                                                                                                       |
|                                                                                                 | キュウリグサ, スイバ, ヒメオドリコソウ                                       | 37-38    | カラスノエンドウ, ギシギシ, コウゾリナ, コメツツメクサ, スズメノエンドウ, ナヨクサフジ, ニホンタンポポ, ヘラオオハコ                                                                       |
| オニグルミ, スイバ, ナノハナ, ニホンタンポポ, ヒメオドリコソウ, ムラサキカタバミ, ヤエムグラ                                            |                                                             | 36-37    | オオイヌノフグリ, オランダミミナグサ, スイバ, タチイヌノフグリ, ニホンタンポポ, マツバウンラン                                                                                    |
|                                                                                                 | ナノハナ                                                        | 35-36    | カタバミ, カラスノエンドウ, ヘラオオハコ                                                                                                                  |
|                                                                                                 | ギシギシ, ナノハナ                                                  | 34-35    | オニグルミ, カタバミ, カラスノエンドウ, コウゾリナ, コメツツメクサ, スズメノヤリ, ナノハナ, ニホンタンポポ, ノジヤ, ハルジオン, ヒメオドリコソウ, ヘラオオハコ, マツバウンラン                                     |
|                                                                                                 | タンポポ類, ナノハナ                                                 | 33-34    | オオイヌノフグリ, ギシギシ, コウゾリナ, シロツメクサ, タンポポ類, ナノハナ, ノジヤ,                                                                                        |
|                                                                                                 | ナノハナ, ニホンタンポポ                                               | 32-33    | ノミノツツリ, ハルジオン, ヒメオドリコソウ, ヘラオオハコ                                                                                                         |
|                                                                                                 | オオカワジヤ, ナノハナ                                                | 31-32    |                                                                                                                                         |
|                                                                                                 | ナノハナ, ヘラオオハコ                                                | 30-31    | イヌザクラ, タンポポ類, ナガミヒナゲシ, ナノハナ, ノジヤ, ハルジオン                                                                                                 |
|                                                                                                 | ケキツネノボタン, タンポポ類                                             | 29-30    | ナノハナ                                                                                                                                    |
|                                                                                                 | ナガミヒナゲシ, ノジヤ                                                | 28-29    | オニウシノケグサ, オニタバコ, オランダミミナグサ, カラスノエンドウ, キュウリグサ, コウゾリナ, シロバナタンポポ, スズメノエンドウ, スズメノヤリ, タチイヌノフグリ, タンポポ類, ノジヤ, ハルジオン, ヘラオオハコ, マツバウンラン, ムラサキカタバミ |
| オオイヌノフグリ, カキドオシ, スイバ, セイヨウカラシナ, ナノハナ, ムラサキカタバミ                                                  |                                                             | 27-28    | イヌムギ, オオイヌノフグリ, オニタバコ, カタバミ, カラスノエンドウ, シロツメクサ, スズメノカタバミ, タチイヌノフグリ, ナガミヒナゲシ, ナノハナ, ニホンタンポポ, ノゲシ, ハルジオン, ヘラオオハコ                           |
| オオイヌノフグリ, ニホンタンポポ, ハナニラ, ハルジオン, ヒメオドリコソウ, ヘラオオハコ                                                |                                                             |          |                                                                                                                                         |

| ～ 右 岸 ～                                                      |  | (単位: km) | ～ 左 岸 ～                                                                                                                                            |  |
|--------------------------------------------------------------|--|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| カラスノエンドウ, シロツメクサ, ナノハナ, ノジヤ, ノジヤ, ハラオオバコ                     |  | 26-27    | サトザクラ, ナノハナ, ユキヤナギ                                                                                                                                 |  |
| アカツメクサ, オオイヌノフグリ, コウゾリナ, カタバミ, タンポポ類, ノジヤ, ハラオオバコ            |  | 25-26    |                                                                                                                                                    |  |
| オオイヌノフグリ, カラスノエンドウ, スズメノヤリ, タンポポ類, ニホンタンポポ, ノジヤ, ハナニラ, ハルジオン |  | 24-25    | オオイヌノフグリ, カラスノエンドウ, コウゾリナ, シロツメクサ, タンポポ類, ナガミヒナゲシ, ハルジオン, ヒメドリコソウ, ハビイチゴ, ハラオオバコ, ムラサキカタバミ, ヤマブキ(八重)                                               |  |
| オオイヌノフグリ, セイウタンポポ                                            |  | 23-24    | オニグルミ, タンポポ類, ナノハナ, ハラオオバコ                                                                                                                         |  |
| タンポポ類, ナガミヒナゲシ, ナノハナ, ネズミムギ, ハルジオン, ヒエガエリ, ヒメドリコソウ, ハラオオバコ   |  | 22-23    | アカツメクサ, カタバミ, カラスノエンドウ, セイウタンポポ, ハラオオバコ                                                                                                            |  |
| なし                                                           |  | 21-22    |                                                                                                                                                    |  |
| ハラオオバコ                                                       |  | 20-21    | カタバミ, コウゾリナ, シロツメクサ, スイバ, ナノハナ, ニホンタンポポ, ハルジオン                                                                                                     |  |
| アカツメクサ, カラスノエンドウ, ハルジオン, ヤセウツボ, ハラオオバコ                       |  | 19-20    | アカツメクサ, カラスノエンドウ, コウゾリナ, コメツブツメクサ, ハラオオバコ, ハルジオン                                                                                                   |  |
| オオイヌノフグリ, ナズナ, ナノハナ                                          |  | 18-19    | アカツメクサ, クサボケ, コメツブツメクサ, シャガ, シロツメクサ, ナノハナ, ニホンタンポポ, ハマダイコ                                                                                          |  |
| アカツメクサ, カラスノエンドウ, シロツメクサ, ハマダイコ                              |  | 17-18    | ン, ヤセウツボ                                                                                                                                           |  |
| タンポポ類, ナノハナ, ハマダイコ, ハラオオバコ                                   |  | 16-17    | タチイヌノフグリ, タンポポ類, ハマダイコ, ハビイチゴ, ハラオオバコ                                                                                                              |  |
| カラスノエンドウ, ナガバギシギシ, ナノハナ, ハマダイコ, ハルジオン, ハラオオバコ                |  | 15-16    | オオイヌノフグリ, カラスノエンドウ, コウゾリナ, ニホンタンポポ, ハマダイコ, ハラオオバコ                                                                                                  |  |
| セイウタンポポ, タンポポ類, ナズナ, ハルジオン, ハラオオバコ                           |  | 14-15    | サトザクラ, ソメイヨシノ, ナノハナ, ハマダイコ                                                                                                                         |  |
| アカツメクサ, ハマダイコ                                                |  | 13-14    | カタバミ, シロツメクサ, セイウカラシナ, ハマダイコ                                                                                                                       |  |
| ネズミムギ, ハマダイコ                                                 |  | 12-13    | カタバミ, シロツメクサ, ナノハナ                                                                                                                                 |  |
|                                                              |  | 11-12    | オオイヌノフグリ, タンポポ類, ハマダイコ                                                                                                                             |  |
|                                                              |  | 10-11    | ギシギシ, シロツメクサ, セイウアブラナ, セイウタンポポ, ハマダイコ                                                                                                              |  |
|                                                              |  | 9-10     | ハラオオバコ                                                                                                                                             |  |
|                                                              |  | 8-9      | ギシギシ, ハマダイコ                                                                                                                                        |  |
|                                                              |  | 7-8      | オオイヌノフグリ, オウタチカタバミ, オランダミミナグサ, カタバミ, カラスノエンドウ, ギシギシ, シロツメクサ, セイウカラシナ, セイウタンポポ, ナズナ, ナガミヒナゲシ, ハコベ, ハマダイコ, ハルジオン, ハビイチゴ, ハラオオバコ, マメグンバイナズナ, ムラサキカタバミ |  |
|                                                              |  | 4-5      | オオイヌノフグリ, カタバミ, シロツメクサ, セイウカラシナ, セイウタンポポ, ナズナ, ナノハナ, ハマダイコ                                                                                         |  |
|                                                              |  | 3-4      | ン, ハビイチゴ                                                                                                                                           |  |
|                                                              |  | 2-3      | ハマダイコ                                                                                                                                              |  |
|                                                              |  | 1-2      | アカツメクサ, コメツブツメクサ                                                                                                                                   |  |
|                                                              |  | 0-1      |                                                                                                                                                    |  |

※この表は、第2回特別調査の結果として調査員からお送りいただいた画像データおよび写真をもとに、明治大学農学部倉本氏が出現種を同定した結果を事務局にて一覧にしたものである。写真だけでの判別が難しいものについては、下記のとおり標記した。**タンポポ類**：ニホンカセイヨウかを判別する特徴が写っていない場合。カタバミ：カタバミかオウタチカタバミかを判別する特徴が写っていない場合。**ナノハナ**：種を見分ける特徴が写っていない場合。**ギシギシ**：種を見分ける特徴が写っていない場合。なお、人家や公園の植物は除いた。

### 3. 多摩川に関する映像資料の収集

西暦 2000 年時における映像資料は、流域の住民、住民団体、愛好家、国土交通省の広報用や事業記録、TV 等による放映映像をあわせ、228 点を DVD 化し、現在、府中郷土の森博物館内「多摩川ふれあい教室（府中市南町）」、「二ヶ領せせらぎ館（川崎市多摩区）」の二ヶ所で常設放映している。

今回もさらに追加収集を行うこととし、大石悌司実行委員と NPO 多摩川センター所蔵品等、67 点を 2009 年に DVD 化し、共用することとした。その一覧を以下に示す。

| No. | タイトル(製作者・行事・活動・風景など)                               | 放送年月日            | 時間<br>(分、秒) | 撮影者・場所・その他            |
|-----|----------------------------------------------------|------------------|-------------|-----------------------|
| 1   | NHKシリーズ「わが町の自然を守る」<br>川の流れて身を寄せて                   | 2000/6/143       | 28.50       | NHK(ゲスト:横山十四男氏)       |
| 2   | 「多摩川自然紀行」(上流)<br>NHKくらしのジャーナル 親子で体験                | 1992/8/24~<br>26 | 44.00       | NHK(ゲスト:みなみらんぼう氏他)    |
| 3   | 「多摩川自然紀行」(中流)<br>NHKくらしのジャーナル 親子で体験                | 1992/8/24~<br>26 | 52.00       | NHK(ゲスト:石田幸彦氏他)       |
| 4   | 「多摩川自然紀行」(下流)<br>NHKくらしのジャーナル 親子で体験                | 1992/8/24~<br>26 | 52.00       | NHK(ゲスト:矢萩隆信氏他)       |
| 5   | NHK情報ネットワーク「多自然型川づくり」                              | 1995頃            | 15.00       | (財)リバーフロント整備センター      |
| 6   | NHKおはよう日本「市民も参加 川の通信簿」                             | 2002/7/31        | 3.00        | NHK                   |
| 7   | NHK金曜フォーラム「川の未来を語る」<br>環境と治水の調和をめざして               | 1999/7/7         | 69.00       | 港区内メルパルクホール           |
| 8   | TBSテレビ「多摩川はつらいよ」                                   | 1996             | 20.00       | 和光学園 和光小学校            |
| 9   | TBSテレビ「多摩川のあの時かも知れない」                              | 1993/11          | 33.00       | (企画)京浜工事事務所           |
| 10  | テレビ東京「でかけよう私の好きな多摩川」                               | 1995/3/19        | 14.00       | 東京都映画協会               |
| 11  | テレビ東京「緑のびのび」多摩川の水源林～水を守る                           | 1994/8/13        | 14.00       | 制作 日経映像               |
| 12  | テレビ東京「緑のびのび」多摩川の水源をめぐす                             | 1994/8/20        | 14.00       | 制作 日経映像               |
| 13  | テレビ東京「僕らは多摩川探検隊」                                   | 1993/6/1         | 28.00       | 多摩川小学校他2校             |
| 14  | 「多摩川・浅川上空より現地調査」                                   | 2000/3/1         | 113.00      | 多摩川センター活動・風景          |
| 15  | 建設省関東地方建設局「川の声 人の声」                                | 1999/3/29        | 22.00       | 関東建設弘済会               |
| 16  | 建設省関東地方建設局 これからの川と水<br>「より安全に より快適に」               | 1991             | 16.00       | 制作 関東地方建設局<br>河川計画課   |
| 17  | MXテレビ「東京おもしろ探検 自然がいっぱい」                            | 1998/8/3         | 7.00        | 多摩川ふれあい教室他            |
| 18  | 「バクの川 われら鶴見川流域人」                                   | 1995             | 68.00       | バクの川を製作上映する会          |
| 19  | 広島テレビ・テレビ朝日「あの河は今」                                 | 1997/10/26       | 67.00       | 広島県太田川                |
| 20  | TAMARAいふ21の記録「総集編」                                 | 1993/11/7        | 65.00       | TAMARAいふ21協会          |
| 21  | TAMARAいふ21の記録「多摩の湧水・崖線の保全」                         | 1993/11/7        | 17.00       | // 東京都映画協会            |
| 22  | TAMARAいふ21の記録「365万人リサイクル型都市の形成」                    | 1993/11/7        | 17.00       | // 東京都映画協会            |
| 23  | 郷土の森ふれあい教室VTRソフトA :①この水はどこから来る<br>②空から見た多摩川 ③多摩川八景 | 1995頃            | 30.00       | 多摩川ふれあい教室<br>多摩川流域    |
| 24  | 郷土の森ふれあい教室「多摩川の魚を知ろう」                              | 1996/9/1         | 29.00       | //                    |
| 25  | 講演会「21世紀の多摩川」<br>建設省 京浜事務所長 細見寛氏                   | 1999/11/20       | 59.00       | 四ヶ領用水4百年の会<br>創立2周年記念 |
| 26  | 「RIVER 生きている川」(財)せたがやトラスト協会                        | 1995頃            | 30.00       | 東急ケーブルテレビ             |
| 27  | 「調布コミュニケーション」調布ケーブルTV                              | 1995頃            | 45.00       | 調布市多摩川小学校他            |
| 28  | 「身近な環境を考えよう」多摩川・大栗川合流点にて                           | 2001/9/21        | 32.30       | 多摩市立連光寺小学校            |
| 29  | ビデオ広報ふちゅう「多摩川」                                     | 1995頃            | 11.40       | シティケーブルTV府中           |
| 30  | 「多摩の流れと歩む」                                         | 1995頃            | 55.00       | 府中市南白糸台小学校            |
| 31  | シティケーブルTV府中「冬鳥を見よう」                                | 1998/3/5         | 43.40       | 多摩川ふれあい教室             |
| 32  | 交流ホ-ト「Eポ-ト」命名進水式                                   | 1995/7/30        | 10.00       | 酒井基光映像事務所             |
| 33  | 「多摩川の河口下流調査」投網                                     | 1995頃            | 61.00       | 多摩川センター活動風景           |
| 34  | ①「浅川伝統漁法の実演と漁具」<br>②「夏の秋川に遊ぶ」                      | 1995頃            | 44.00       | 多摩川センター活動風景           |
| 35  | 「多摩川河口・野川・小河内ダム」                                   | 1994/9/4         | 65.00       | 多摩川センター活動風景           |
| 36  | 「源流の山菜ツアー／交流会」                                     | 1994/7/28        | 60.00       | 多摩川センター活動風景           |
| 37  | 「多摩川水生生物調査」羽村付近                                    | 1994/8           | 47.00       | 多摩川センター活動風景           |
| 38  | 「多摩川の橋／堰／水源林」                                      | 1994頃            | 83.00       | 多摩川センター活動風景           |
| 39  | 「落合川 清流復元シンポジウム」                                   | 1994/8/4         | 92.00       | 南沢氷川神社                |
| 40  | 「多摩川の冬」                                            | 1995頃            | 17.00       | 多摩川センター活動風景           |
| 41  | 日本植物友の会「春の野草」                                      | 1995頃            | 30.00       | 日本映画新社                |
| 42  | (財)とうきゅう環境浄化財団<br>「秋川」自然とその風土                      | 1997             | 20.00       | 撮影:大石悌司<br>編集:渡会 猛    |
| 43  | (財)とうきゅう環境浄化財団<br>「浅川 点描」                          | 1998             | 22.30       | 撮影:大石悌司<br>編集:渡会 猛    |
| 44  | (財)とうきゅう環境浄化財団<br>「武蔵野水の道」野川                       | 1999             | 20.00       | 撮影:大石悌司<br>編集:渡会 猛    |



●2000年時の追加分の映像データ

| No. | タイトル(行事、イベント、祭りなど)       | 撮影日                      | 時間(分) | 備考                 |
|-----|--------------------------|--------------------------|-------|--------------------|
| 120 | 多摩川 左岸 61.5～54km         | 1996/3/16、<br>3/23       | 60,00 | 青梅万年橋              |
| 121 | 多摩川 左岸 54～48km           | 1996/3/31、<br>4/14       | 60,00 | 羽村堰上～              |
| 122 | 多摩川 左岸 48～40km           | 1996/4/14、<br>5/18       | 60,00 | 昭和堰上～              |
| 123 | 多摩川 左岸 40～34km           | 1996/5/19、<br>5/26       | 60,00 | 日野橋下～              |
| 124 | 多摩川 左岸 34～27km           | 1996/10/31～              | 60,00 | 多摩川ふれあい教室          |
| 125 | 多摩川 左岸 27～21km           | 1998/4/19、<br>7/23～      | 60,00 | 京王相模線上～            |
| 126 | 多摩川 左岸 21～13km           | 1998/2/16、<br>2009/9     | 60,00 | 東名高速道下～            |
| 127 | 多摩川 左岸 13～0km            | 1998/12/18～<br>1999/1/17 | 51,00 | 丸子橋～河口             |
| 128 | 多摩川は今…総務会、上、中、下流編        | 2000/1/1～<br>2001/1      | 59,00 | 総集編(PR用)           |
| 129 | 武蔵 御岳神社 日の出祭             | 2002/5/8                 | 10,45 | 御岳神社 青梅市           |
| 130 | 羽田 水神祭                   | 2002/5/11                | 7,30  | 玉川弁財天 大田区          |
| 131 | 西暦2000年の多摩川を記録する運動(総括総会) | 2002/5/11                | 33,40 | 二ヶ領せせらぎ館 川崎<br>市内  |
| 132 | 狛江 水辺の楽校                 | 2002/8/10、<br>8/24       | 16,00 | 狛江市内               |
| 133 | 夏の秋川渓谷                   | 2002/8/31                | 7,00  | 秋川上流               |
| 134 | ふれあいウォークIN多摩川            | 2002/10/12               | 7,00  | 京王グループ             |
| 135 | 世界子ども水フォーラム (小菅村)        | 2002/10/20               | 27,00 | 多摩川流域子供交流会         |
| 136 | シンポジウム 多摩川の水質と流量         | 2002/9/7                 | 34,00 | 調布堰、玉川浄水場          |
| 137 | 横山十四男先生 お祝いの会            | 2002/6/19                | 57,00 | カフェ グルメゾン          |
| 138 | 第3回 多摩川流域郷土芸能フェスティバル①    | 2002/10/24               | 48,00 | 実行委員会 調布市内         |
| 139 | 第3回 多摩川流域郷土芸能フェスティバル②    | 2002/10/24               | 32,00 | 実行委員会 調布市内         |
| 140 | 多摩川さくら百年物語フォーラム さくら記念植樹  | 2005/2/6                 | 18,30 | 読売新聞社 立川支局<br>稲城市内 |
| 141 | 奥多摩渓谷(奥多摩駅～白丸湖～鳩ノ巣渓谷)    | 1996/11/3、<br>11/4       | 25,00 | 奥多摩 原版+VHS複製       |
| 142 | 多摩川の川虫を探そう               | 2001/6/24                | 9,00  | 多摩川ふれあい教室          |

なお、これらの映像は、一部放送映像等、著作権の問題があり、今後正式に許可申請を行う予定がある。

収集映像のDVD化にあたっては、財団法人とうきゅう環境浄化財団(当時)の2008～2009年度助成金により行った。DVD化の作業は大石悌司委員の協力を得て、各2セットを作製した。

## 4. 調査風景



左岸 1km 付近



右岸 2km 付近



左岸 5km 付近



左岸 11km 付近



右岸 20km 付近



右岸 19km 付近



左岸 23km 付近





左岸 25km 付近



左岸 35km 付近



左岸 36km 付近



左岸 37km 付近



右岸 39km 付近



右岸 46km 付近



左岸 39km 付近



左岸 61km 付近



## 5. パノラマ写真

※このパノラマ写真は、調査日に左右岸の1km 杭ごとに調査員が撮影したものの一部です。



左岸 10km 地点パノラマ



右岸 18km 地点パノラマ



左岸 31km 地点パノラマ



6. 多摩川のさまざまな利用風景



潮干狩り(左岸 1-2km)



羽田神社例大祭(左岸 1-2km)



水上バイク(左岸 1-2km)



防災訓練(左岸 2-4km)



係留船(左岸 2-4km)



ゴミの山(右岸 5km)



サッカー(左岸 7-8km)



野鳥の採餌(右岸 16-19km)



ゴルフ(右岸 16-19km)



楽器練習(左岸 18km)



駐車場(左岸 18km 付近)



小屋(右岸 19-20km)





住人の小屋(右岸 21-22km)



バーベキュー(右岸 23km)



自然観察(左岸 25-27km)



民俗舞踊の練習(左岸 25-27km)



ウォーキング(左岸 25-27km)



(右岸 26km)



野球(左岸 27-28km)



凧揚げ(左岸 27-29km)



デイキャンプ(左岸 31-33km)



競技用イス(左岸 31-32km)



ジョギング(左岸 32km)



虫取り(左岸 32km)



7. キロポスト、案内板、標識等



サイクルキャンプ(右岸 43-46km)



釣り(右岸 48-51km)



「多摩川における河川伝統工法」  
左岸 7～8km



0.2km ほどの距離標  
右岸 7.4km



左岸 0km



自転車(左岸 49km)



たき火跡(右岸 55-56km)



上菅(矢野口)の渡し  
右岸 27km



犬の散歩(左岸 53-54km)



水遊び(右岸 61km)



(右岸 61km)キロポスト(左岸 35km)



日野渡船場跡/左岸 40km



8. 多摩川河川敷で見られる花ベスト10



ハマダイコン



ナノハナ



タンポポ



オオイヌノアグリ



セリハヒエンソウ



ナガミヒナゲシ







アカツメクサ



ハラオオバコ



コウゾリナ



カラスノエンドウ



※ハマダイコンは下流の代表的な種である。ナノハナはセイヨウアブラナとセイヨウカラシナが写真での区別が難しく、まとめて扱った。中流域を代表するタンポポは、外来種か自生種か判別できないものがあった。タンポポが類は広い範囲の土手で群生していた。オオイヌノフグリとハラオオバコはたくさんある外来種であり、セイバヒエンソウ（上流）、アカツメクサ（下流）は古くからあり、特徴的な外来種、ナガミヒナゲシは新しい外来種、コウゾリナは自生種の代表、カラスノエンドウは史前帰化植物の大法である。本本として写真が多かったのは、オニグルミとヤマブキであった。「ベスト 10」は、調査員から収集した画像による同定の結果、多く確認されたものから 10 種を選定した。  
 (明治大学農学部 倉本宣)

## 9. 調査員からのメッセージ

### 「2010年の多摩川河口を記録して」

安元 順（大師河原水防センター運営委員会）  
（右岸 0～4km 担当）

多摩川河口域の右岸、川崎市川崎区を走る青少年サイクリングロード終点から更に1km程先に延びる道を進んだ地点に水位自動計測施設がある。その目の前を阻む運河を挟んだ対岸の企業私有地内に埋め込まれているのが河口原点（0km）の標識だ。今回の調査はそれを臨む地点から始まった。視界に映るのは国際化とターミナルの拡張により羽田空港へ頻繁に離発着を繰り返す旅客機とそれを横目に広大な河口干潟でヤマトシジミを掘る人々の姿。都市の中に共存する風変わりな光景は以前から知られていたものだが（形こそ違うが昔から人々の生活の糧を得るため行われていた）、ここ数年、この場所を訪れる人数は増加傾向にある。比較的容易に干潟に降りてシジミを採取できるとマスメディアに取り上げられたこと、野鳥撮影ブーム、企業の撤退による再開発に伴い大規模集合住宅が建設され沿川住民が増えたこと、川崎市に於いては川崎市多摩川プランが策定され再び人々が川に関心を持ち、市民活動も活発に行われていることなどがその理由であろう。川に人々の賑わいが感じられるようになったのは大変喜ばしいことである。しかし、この姿がこのまま続いていくのかというと、そうとは言い切れないのが現実だ。羽田空港の対岸に位置するこの地区では、現在堤防工事と同時に再生医療・新薬開発共同研究センターなど先端産業の研究・開発拠点の整備事業も進められているため、この一、二年で周辺環境に劇的な変化が起こるのは間違いない。また、社会構造や自然事象と共に遷ろう人間の価値観や生活様式もあり、人々の河川利用形態も変わってくることだろう。十年先にまたこの「多摩川を記録する運動」を行うのであれば、これまでの調査結果や地域の歴史・文化を踏まえた上で、人々の営みや周辺環境の変化を比較しながら実施して貰いたい。都市河川・多摩川における自然環境と人工構造物の奇妙なバランスはそのときにも保たれているだろうか。今、サイクリングロードを自転車で駆け回る子どもたちの誰かが十年後に同じ道を歩き、不易流行の本質について考えることを期待する。



## 「酷暑の調査～熱中症罹患の弁」

長島 保 (たま・エコPJ / 右岸 22～24km)

今回は、中流域の右岸 22km 杭から 24km 杭までの区間を担当した。10 年前は、下流域の右岸、6km 杭から 9km 杭までの 3km だったが、今回は 2km と、距離は短くなった。

第 1 回の 1 月 24 日、真冬から始まったのだが、なぜか今回は寒さを覚えていない。それよりも、7 月 24 日のあの熱さが忘れられない。調査の帰り道、この夏 2 回目の熱中症に襲われてしまったの



だ。何しろ、あの 2010 年は、酷暑の夏であった。6 月から高温が続き、7 月に入るや各地で熱中症が騒がれ始めた。それも初めは、人ごとのように思っていたのだ。この年まで、全く縁がなかった、その熱中症に、昨夏は 3 回も見舞われるはめになった。歳の所為だろうか。

7 月 22 日のこと、初めての熱中症に罹った。秋に行う史跡散策の下見に、仲間数人と出掛けた。このときも、水分の補給には、充分注意したつもりだった。一昨年夏の、脱水症状で懲りていたから



からだ。あのときは、多摩川河口の 0km プレートまで、炎天下の空港内の川べりを案内して歩いた。説明で夢中になっていて、汗だく

になったにもかかわらず、水分補給を忘れていた。ふらつき始め、歩行に異常を感じはじめたときには、もう遅かった。周りの仲間たちが気づいて、いやがる私を同行していた警備車に、引きずりこんだ。そして、これから落ち合う集会場の休憩室に運んで、手当をしてくれた。その時、スポーツドリンクを飲まされたことを覚えている。1 時間ほど横になっていた私は、午後から始まった集会で、30 分ほどのレポートをすることができた。

今回の熱中症は、あの時の脱水症状とは全く違っていった。汗が止めどなく出た。脱水症を気遣って、水分をどんどん補給した。何しろ、多摩川の堤防上は、どこを捜しても木陰もなければ、建造物もない。調査を終えて、ようやく橋の下にたどりついた時には、橋脚の出っ張りにへたりこんでしまった。同行していた仲間が、そばの八百屋に飛び込んで、急を告げたようだ。



私の周りに、人ばかりできて、保冷剤を脇下に、水を凍らせたペットボトルをタオルに包んで、首筋にと、手当が始まったらしい。私はそれまで、しばらく気を失っていたようだ。通りかかった女性は、扇げとって団扇をくれていった。駐車場の管理人がきて、クーラーの効いた管理室に来たらと、誘ってくれたが、立ち上がれなかった。その時、気づいた。どうやら熱中症では、体温のコントロール不能に陥ることを。救急車の世話に成らず、1 時間ほどで快復した。無性に腹が減った。

とにかく、周りの人びとのお蔭で、私は命拾いをした。唯、感謝のみ。性懲りもなく、その 2 週間後に、またまた 3 回目をやってしまった。



## 「多摩川のながれ、いつまでも美しく」

東京学芸大学民族植物学研究室  
(左岸 27～29km, 35～37km 担当)



多摩川源流の山梨県小菅村で、村人と私たちはエコミュージアム日本村づくりを進めています。東京学芸大学は 2007 年に小菅村と社会連携協定を結び、植物と人々の博物館プロジェクトによって、環境学習実践と調査研究を通じた山村振興モデルを実現しようとしているのです。

今回の多摩川調査には民族植物学研究室から 2 ティームで参加しました。大学から出て市民の皆様とともに協働して実践する環境保全活動のトレーニングとして、この調査は有効だと考えたからです。学部生や大学院生の個別研究とは別に、研究室の共同調査研究としてお手伝いしました。同時に、大学院の講義「環境学」の一環として、多摩川の山の神と水神を課題に、多摩川の神社や祠を訪ねました。

国立に住んでいた 1980 年前後には、多摩川辺の水田で雑草の調査をしていました。また、国立公民館の市民活動で、自然観察会「青空教室」、講座「雑穀と食文化」を開催していました。これらのために度々、多摩川に行きました。2010 年の多摩川周辺は中央高速の近くに多くの倉庫や住宅が立ち、人工化が著しくなりました。それでも、まだ川の流れは変わらず、雑草の生えている水田が少し残っています。これらを大事にしたいと願います。

東京学芸大学民族植物学研究室  
木俣美樹男 (62 歳)、  
和田綾子 (M2)、伊藤惇 (M2)、信太康輔 (U4)、  
小林英成 (U4)、蜂須賀美保 (U4)、中田ひかり (U4)、  
加賀美啓 (U3)、大塚啓太 (U3)、斎藤嵩之 (U3)

.....

## 「西暦 2010 年の多摩川を記録する運動」に参加して

糸井 守 (左岸 39～41km 担当)

多摩川左岸側から視る水辺を前景にした冬の富士山は、澄んだ空気の青空の中ですそ野まで真っ白に雪化粧しており、ひと際雄大で人の心を癒してくれた。昨今では久しぶりに見る心躍る瞬間であり、調査活動をより楽しいものにしてくれた。昔から見慣れた景色ではあるが、近年の高層ビル・マンション等の建設や大気汚染等によりきれいな富士山を見る機会を失いつつあるので、余計に感動した。

また、川中に目を落とせば、川の浅瀬に座台を置きどっかと胡坐姿勢での釣り人が目に入った。大自然と一体化し、溶け込み、自然に親しむ風情を感じ、自身までもが自然の中のような気分になった。

水辺は、春には河原の草花の彩りが楽しめ、夏には爽やかな水の流れとともに昆虫や鳥のダイナミックな乱舞に目をやり、秋には草木の紅葉を愛でるなど四季折々の楽しみがある。

この良き水辺環境を持続的に発展させて行くために、基盤となる継続的調査と保全・育成活動を市民の力で推進することは非常に意義ある行為だと思っている。

## 「どうする多摩川河川敷？」

～自然保護の観点から見た多摩川の利用、およびバーベキュー他の地域の取り組み、水質汚染～

森田 英代

(多摩川の自然を守る会／左岸 17.9～19 km 担当)

原則として多摩川の河川敷でバーベキューをすることに反対です。他の目的で川を利用している人や近隣への迷惑なども、勿論問題ですが限られた時間なので主に自然保護の観点から話をさせていただきます。バーベキューによる煙、におい、石に付着する油などはいずれも河原の自然に有害です。雨がふると油は河に流れてゆき水質を悪化させ、きれいな水を好む魚が住めなくなり、魚がいなくなると魚を食糧としていた野鳥が来なくなります。変わりに鳥が群れで集まってくる人を脅かしたりしています。

最近の多摩川は堤防に囲まれ、むき出しのコンクリート護岸や、隠し護岸といって表面からは見えませんが、コンクリートが使われ、固められています。コンクリートからは徐々に成分である塩類が流出して河原の土を弱アルカリ性にしています。日本古来の弱酸性の土と丸石でできた河原には 1991 年には約 45000 本のカワラノギクが多摩川で確認されていましたが、2002 年にはわずかに 62 本になってしまいました。株数がこんなに少なくなると昆虫が飛んできて受粉することもなくなってしまい、野生のものは今では一桁になってしまっています。上流域で河原一面に咲き乱れているカワラノギクを見たことのある私は、それがあつという間に消えてしまったことが本当に残念です。子供たちやさらに後の世代の人はその光景をもう見ることはできないのです。今、国交省や研究者や私たち市民ボランティアでプロジェクトをつくって、保存してあつた種を使って復元活動をしています。それは自然ではなく人工ということになってしまいます。カワラノギクは 1 例ですがトダシバに頼って生きていた、マツムシもこのあたりから消えてしまい、秋の夜にチンチロリンと澄んだ声を聞くことが出来なくなりました。ガチャガチャと大声でなくクツワムシも 30 年以上前に狛江の河原からいなくなってしまいました。河原の中州にヨシハラがなくなるとそこをねぐらにしていた何百羽というツバメも来なくなってしまいました。残ったのは緑色をしています。単調な外来種の植物が多く、日本に昔からあつた植物は生存を脅かされています。

流域の人口が増えて堤防の強化や下水処理場が必要になるなど、いわゆる都市化が進んだために、多摩川の自然は今、危機状態にあると思います。この上、何か一つでも自然に悪影響を及ぼす要因が加わると壊滅的な打撃を受ける可能性があります。

他地域の取り組みについてですが世田谷区の二子玉川では住民の要望を受けて花火とバーベキューが禁止になりました。住民が絶えず清掃などのボランティア活動を行っていた努力が認められた結果です。また禁止の看板が立てられた後も、住民が気をつけて区と連絡を取り合うなどして完全にやめさせることができたということです。福生市では市が占用許可を得て多摩川沿いに「福生南公園」という大規模な人工公園を造り駐車場、テニスコート、花壇、子供用プールとバーベキューができる設備を備えていましたが、1 今年の台風のときの洪水で壊滅的な打撃を受け、テニスコートやバーベキューの炉など地面ごとにはがされて下流に流されてしまいました。こんなものが濁流と一緒に流れてくると堤防を壊すこともあるし、本当に恐ろしくなります。

ちなみに私たちが多摩川にかかわる数多くのグループと協力して「西暦 2000 年の多摩川を記録する運動」というのを行い、その報告書を見ると 2000 年 10 月 23 日正午に一斉調査をしたときの記録では、当時、多摩川（左岸）でバーベキューが最も盛んだった場所は河口から 32～33km 地点で 684 人（府中市郷土の森に隣接した河原）、2 位が二子玉川で 335 人、3 位が福生市で 220 人、狛江の和泉多摩川は 5 位になっています。

平成 13 年に沿川住民、学識経験者、国交省の京浜河川事務所が協力しあって策定された「多摩川水系河川整備計画」の基本方針の一つは「多摩川らしさを維持してゆく」となっています。多摩川らしさとは「…現在の多摩川ばかりではなく、その歴史、周辺地域、景観等も含めて多摩川の個性、多摩川らしさを損なわない範囲で整備することが、後世に多摩川を遺して行くうえで重要である。」とされています。一言でいうことは難しいのですが多摩川は都市の住民にとって身近な自然であること、広い空間があることがそのよさであり魅力であると思っています。

この多摩川を少しでも傷つけないように、むしろ自然を回復する努力をすることが、いま私たちに求められていると思います。

（狛江青年会議所主催「狛江市民討議会」への情報提供／2009 年 6 月 28 日より）

.....

#### 「小作堰より青梅万年橋までの兩岸を調査して」

多摩川の自然を守る会 柴田隆行  
（左・右岸 56～62km 担当）

この地域は瀬と淵とが繰り返されるため河川敷と言える部分が狭く、多摩川橋上流には兩岸に高大な礫河原があるとしても、そこも含めて全体として、河川域では冠水頻度が非常に高く、10 年に 1 度の調査よりも 1 年に 1 度の調査で比較しないと何も言えないと思う。（本会ではそうした調査をしている。）

言い方を変えれば、五日市線鉄橋辺りから上流になって初めて川らしい川の様相が見られる。しかしながら、河川管理者も十数年前から繰り返し強調しているように、河川のなかの流水部の固定化が進み、めったに水が浸潤してこない所では草原化を通り越して樹林化が激しい勢いで進行して、堤防上に立っても水域が見えない。したがって、この調査のように人間の動態調査が中心の場合、水辺にいる人たちは対岸から見ないとわからないことが多い。

下奥多摩橋より上流になると、川沿いに歩き通すことはまったく不可能になるので、橋の上からとか一方の岸から双眼鏡で眺めるとかして調査することになる。まあ、それで十分間に合うという川幅なので、調査に遺漏はない。

昨今、川遊びでのマナーの悪さが際立ち、中下流部のほとんどで河原での BBQ 等が禁止されているが、青梅の万年橋から下流の鮎美橋付近までは大勢の BBQ や水泳等を楽しむ人で溢れ、夏の調査の時には数を数えるのがたいへんだった。むかしよく見かけたイラン人のような人たちの団体が数十人河原でカラオケを楽しんだり、台風の影響で水量が増し濁水となっているのに子どもたちが泳いだりしているのを見ると、東京近郊でこうした遊びができる所が他にほとんどないのだろうと改めて思う。高尾山が外国人の人気スポットとなっているようだが、多摩川でも外国人を見かけることが多くなった気がする。

## 「調査に関して思ったこと」

石坂 真悟（多摩川源流大学）

日常、車から見たり、すれ違ってはいるものの、多摩川源流小菅村への来訪者に関して本格的な調査に参加したのは今回が初めてである。本調査でも明らかなように、多摩川の源流を訪れる方々は、釣りを楽しんだりサイクリングを楽しむ人が大半を占めていた。それも、ほぼ調査対象者全員が八王子ナンバーや都内ナンバーの車ばかりだった。

素晴らしい源流の自然を多くの人々が楽しみ、触れ合うことができるのも、世代を越えて自然と共に生きてきた源流域の生活が受け継がれてきたためであろう。しかし、源流域は少子高齢化、第二の過疎、農林地の放置化、産業の衰退などは、限界集落の先駆的な位置づけとなっており、このまま放置すると近い将来、みどり豊かな源流の自然は崩壊し、優れた源流文化は消滅する可能性がある。

私は、小菅村に移住し東京農業大学と小菅村が実践している「多摩川源流大学」に勤務し、学生や一般の方に、地域で生活する人々が自然から多くの「知識」を得て、自然と一体化した「知恵」となり文化として発展させてきた「原体験」を経験するプログラムを実施している。この原体験を通し「生きる力」を育み、消滅しつつある源流域の自然や文化などの貴重な財産を、後世に伝え、源流域を支えるサポーターになってくれることを願っている。

私はこれからも下流域の住民の皆さんに、いつまでも綺麗な水や自然を届け愉しんでもらえる様に、源流域の川や自然、文化に関わって生きたいと思う。



## 調査を終えて

西暦 2010 年の調査は、2000 年時に比べ、調査内容を少なくし、多摩川利用実態一斉調査をメインに行った。幸い、10 年前に参加した方々に再度参加していただいたため、事前の準備は手間取らなかったし、実施にあたり運営上の大きなトラブルは生じなかったように思う。

流域の大学で環境科学や地域計画を学ぶ学生諸君を、こうした NPO 活動や多摩川への興味を喚起したいという思いもあって呼びかけたところ、5 大学 29 名の参加を得たことは、望外の喜びにあった。次回、いつできるのかは分からないが、彼らの中から発起し、継続する人材が出てくることを期待したい。

多摩川利用実態一斉調査は、四季ごと年 4 回の調査であった。この記録は、前回と条件を同じくしたため、比較したり河川敷地の土地利用や河川整備計画との関連研究等に資すると考える。ただし、年 4 回、しかも調査時間が 10 時から 13 時ごろの時間帯であったことから、終日の利用状況とは内容も利用者数も異なることは否めないものの、河川管理や河川環境保全活動に市民が参加する状況になった現在、市民も情報を収集したり、自らの視点で科学的調査を行うことが必要と考え、その端緒になればとの思いもあった。多摩川での同様調査の文献として昭和 47 年

(1900) の「多摩川河川敷利用状況調査」がある。これは、当時の建設省京浜工事事務所が行ったものだが、以降、一斉調査等の報告は知らない。多様化し増大する多摩川の利用と環境管理を考えるとすると、今回の調査活動を契機に精度の高い調査が官民協働で行われるようになればと思う。

一斉調査時に行った回ごとのオプション調査の中で、堤防上から見える富士山の位置は、川と景観が河川整備に位置づけられるようになったことから発案した。同時に、第 4 回の川沿いの中高層マンション、ビル等を特別調査としたのも、景観を考える上で沿川域の土地利用のあり方は今後の課題と考えたことによる。多摩川左岸側は、かつて武蔵野の各所から富士山が眺望されたが、市街化のため、地上から見えにくくなっている。多摩川は明治、大正期から東京の郊外レクリエーション、景勝地として賑わってきた。当然、清流と丹沢山系と富士山、土手の桜は人々の憩いの場となったし、現代でも私たちに遺された大切な財産である。景観や自然環境のみならず防災の視点からも、川沿いや流域の土地利用は再考されなければならない。

多くの方々の協力により得られた今回の調査結果が、これからの多摩川のありように幾ばくかの問題提起になれば幸いである。この調査にあたってご協力いただいた方々、資金面で助成をいただいた公益財団法人とうきゅう環境財団にこの紙面を借り、謝意を表します。

2010 年 3 月

西暦 2010 年の多摩川を記録する運動実行委員会副代表  
特定非営利活動法人 多摩川センター代表理事  
山道 省三

西暦 2010 年の多摩川を記録する運動  
活動報告書

編集・発行 西暦 2010 年の多摩川を記録する運動実行委員会

発行日 2011 年 5 月

連絡先 西暦 2010 年の多摩川を記録する運動実行委員会

事務局:150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-20-14-301

NPO 法人多摩川センター内

(担当:長倉庸子)

Tel.03-3479-0166, Fax.03-5772-1608

E-mail: tamagawa-center@r6.dion.ne.jp

印刷・製本 株式会社 雄文社

\*この活動報告書の編集にあたっては、公益財団法人とうきゅう環境財団の 2010 年度の研究助成を受けています

西暦2010年の多摩川を記録する運動

(研究助成・一般研究VOL. 33—NO. 199)

著者 横山 十四男

発行日 2011年12月1日

発行者 公益財団法人とうきゅう環境財団

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷1-16-14 (渋谷地下鉄ビル内)

TEL (03) 3400-9142

FAX (03) 3400-9141

<http://www.tokyuenvironment.or.jp/>